取扱説明書

ユーザーズガイド

L-300

EPSON



4044668-00
EK3

安全にお使いいただくために

安全上の注意

・本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。
・本製品、同梱品、およびオプション品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および製品添付の取扱説明書をお読みください。
・本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
・本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作･お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され、以下の操作を行うと、火災・感電･けがなどの恐れがありますので、絶対に避けてください。

□電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に直接接続しないでください。
□電池の⊕と⊖を針金などの金属で接続（ショート）したり、金属性のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち歩いたり保管したりしないでください。
□電池の液が目に入った場合、皮膚、衣服に付いた場合には、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

□煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因になります。すぐに本体から電池を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
□お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。けがや感電、火災の原因になります。
□開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因になります。
□異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電･火災の原因になります。すぐに本体から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

□破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因となります。
□雷が鳴り始めたら使用しないでください。感電の原因となります。その際、AC アダプタは速やかに電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
□連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
□各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災のおそれがあります。
□布団などで覆った状態で使用しないでください。特に AC アダプタの設置ではご注意ください。熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。
□太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に傷害を起こすおそれがあります。
□カメラを人の前に近づけて撮影しないでください。目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。
□可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください（電源を切ってください）。引火、爆発の原因になります。
□歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。転倒、交通事故などの原因となります。

電池についての警告

□電池の向きを逆にしてカメラに入れないでください。
□電池の外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
□乾電池は充電しないでください。（2 次）充電池は専用の充電器以外で充電しないでください。
□新旧電池、別の種類、別の銘柄の電池を混ぜて使わないでください。
□電池が液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。
□小さなお子さまの手の届くところには、保管、放置しないでください。電池を飲み込んでしまうおそれがあります。

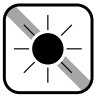
液晶モニタについての警告

□液晶モニタが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
・皮膚に付着した場合 付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。
・目に入った場合 きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
・飲み込んだ場合 水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

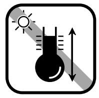
使用上の注意

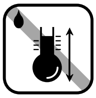
⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、製品が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。


直射日光の当たる場所


ほこりや塵の多い場所


温度変化の激しい場所

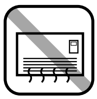

湿度変化の激しい場所

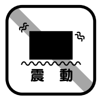

火気のある場所


水に濡れやすい場所



揮発性物質のある場所


冷暖房機具に近い場所



振動のある場所

□本製品は、以下の環境で使用してください。
・温度 5℃～ 35℃（動作時）/-20℃～ 60℃（保管時）
・湿度 30%～ 80%（動作時、非結露）/10%～ 80%（保管時、非結露）

□本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。

□不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

□本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

□テレビ・ラジオに近い場所では使用しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波は発信しております。お近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

液晶モニタについてのご注意

□一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

□液晶モニタの汚れは､乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー､ベンジン､アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。

□ AM ラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けることがあります。

撮影できなかった場合のご注意

本製品や添付のソフトウェアを使用中、万一これらの不具合により撮影できなかった場合、撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。大切な撮影の前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に動作することを確認してください。

AC アダプタ使用上の注意

⚠警告

□同梱のＡＣアダプタはL-300 専用です。他の機器には使用しないでください。発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。
□指定されている電源 (AC100V) 以外は使用しないでください。感電・火災の原因となります。
□ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
□電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。火災の原因となります。
□テーブルタップや分岐コンセントは使用しないでください。
□電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると火災の原因となります。
・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まないでください。
・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んでください。
・破損した電源ケーブルを使用しないでください。電源ケーブルが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
・電源ケーブルは、コネクタ部を持って取り外してください。
・電源ケーブルを加工しないでください。
・電源ケーブルの上にものを載せないでください。
・電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
・電源ケーブルが伸びきった状態では使用しないでください。
・電源ケーブルで AC アダプタを吊り下げないでください。
・電源ケーブルや AC アダプタのコネクタに、クリップなどの金属性のものを接触させないでください。
・電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないでください。

⚠注意

□電圧変動や電気的なノイズを発生する機器 (大型モーターを使っている機器) などから離れたコンセントをご使用ください。
□ AC アダプタが汚れたときは、乾燥した布または水をつけて固くしぼった布でふき取ってください。この際、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。
シンナー、ベンジン、またはアルコールなどでクリーニングしないでください。
□ AC アダプタには電源スイッチがついていません。万一接続機器側で異常が発生した場合は、すぐに電源ケーブルを抜いて、お買い求めの販売店、またはエプソンサービスセンター / エプソン修理センターにご連絡ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

□本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

□写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について

□この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

□本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルパソコンの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

□この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

本書中のマークと表記について

本書中、いくつかのマークを用いて重要事項と関連項目を説明しています。
それぞれのマークには次のような意味があります。

マーク

必ずお読みください

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、カメラ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

ポイント お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。

気をつけて この表示を無視して操作すると、失敗することがあります。

読むとためになります

MEMO 本文に書ききれなかったことで、知っておくと役に立つことを記載しています。

解説 難しいと思われる言葉や概念を分かりやすく解説しています。

ヒント より良くお使いになるためのヒントを記載しています。

ページ参照 関連した内容の参照ページを示しています。

商標等の表記

□商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。

□DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の規格略称です。

□PRINT Image Matching は当社の登録商標です。

□PRINT Image Framer は当社の登録商標です。本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

□ MultiMediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。

□そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

製品の特長

エプソン L-300 をお買い上げ頂きありがとうございます。本製品は、高品位なデジタルカメラであることはもちろん、様々な機能が搭載されています。このユーザーズガイドを良くお読みになり、末永くご使用ください。

簡単操作できれいな写真がお撮りいただけます



従来のコンパクトカメラと同じような感覚で簡単に高品位な写真をお撮りいただけます。
また、エプソン独自の「シーンモード」の搭載により、あらゆるシーンで簡単にきれいな写真が撮れるように工夫しました。

シーンモード
(54・55 ページ参照)

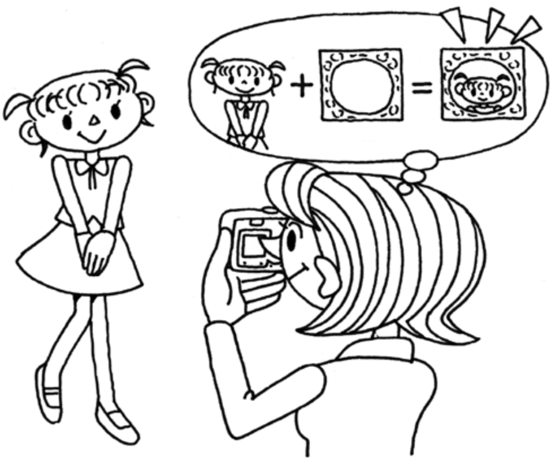
カメラからダイレクトプリントができます



USB を搭載したエプソン製プリンタ（対応機種 68 ページ参照）を使えば、パソコンが無くても「ダイレクトプリント」することができます。このカメラで撮影した写真の情報を元に、最適なプリントが得られるように工夫されています。

ダイレクトプリント
(67 ページ参照)

撮影した写真にフレームを付けることができます



写真にオリジナルのフレーム（額縁）を付けて撮影することができます。
また、その写真を「ダイレクトプリント」でプリントすることができます。

PRINT Image Framer
（46 ページ参照）
ダイレクトプリント
（67 ページ参照）

カメラから携帯電話に写真を送ることができます



このカメラで撮った写真を携帯電話に送ることができます。
また、専用ソフトを使ってエプソンのサーバーに写真を送れば、様々なサービスを受けることができます。

携帯電話接続
（81 ページ参照）

もくじ

応用的な使い方 43

付録　111

困った時は　115

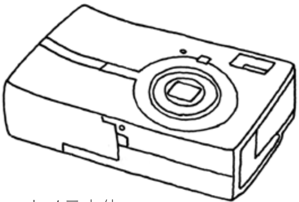
準備

撮影のための準備について

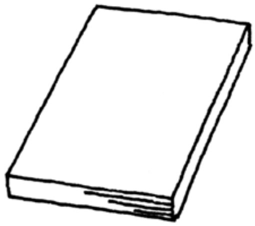
添付品

添付品の確認

次のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。



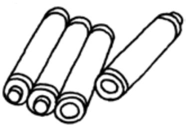
カメラ本体



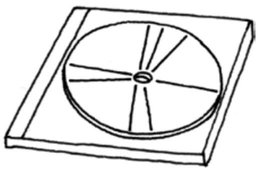
ユーザーズガイド（本書）

お客様情報カード

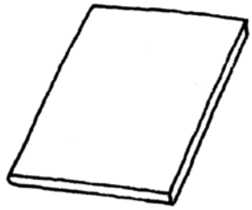
国内保証書



アルカリ乾電池
（単三・４本）



CD-ROM　１枚



ソフトウェアインストールガイド



SD メモリーカード
(16MB)

SD メモリーカード
SD メモリーカードは、カメラ本体に装着されています。

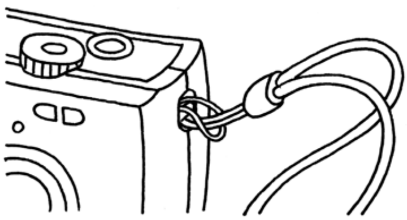
※電池はセットされていません。

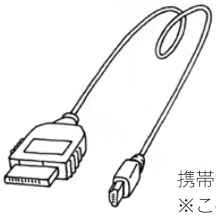




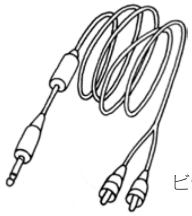
ストラップ

ストラップの付け方
図のようにストラップを取り付けてください。

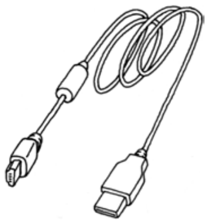




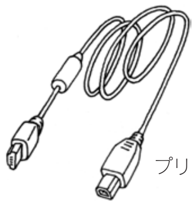
携帯電話接続ケーブル
※このケーブルは au の携帯電話のみに対応しています。



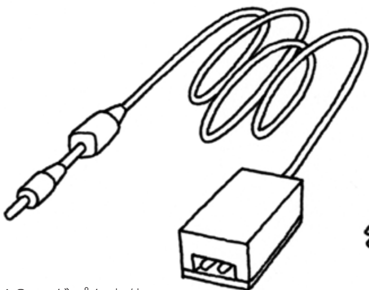
ビデオケーブル



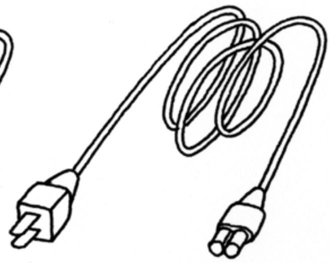
パソコン接続ケーブル
※ USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ（PM-860PT など）と接続するときにも使います。



プリンタ接続ケーブル



AC アダプタ本体
（A211H）



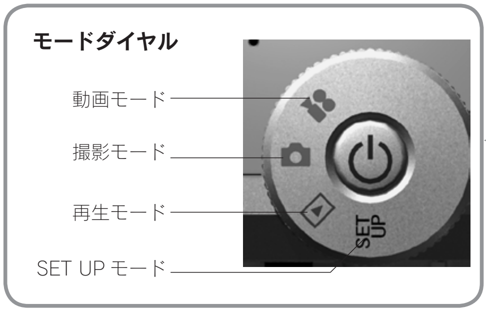
AC100V 用電源ケーブル

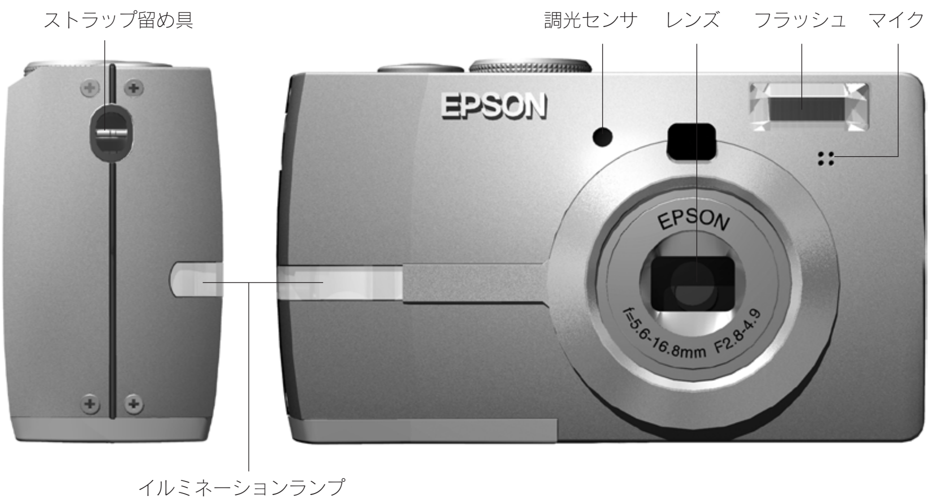
オプション品のご案内

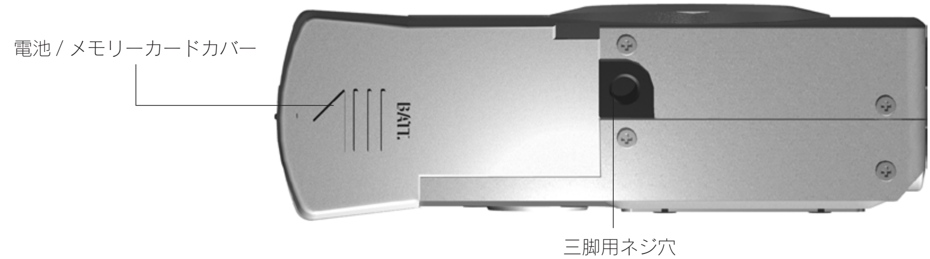
専用ケース（LASC1）

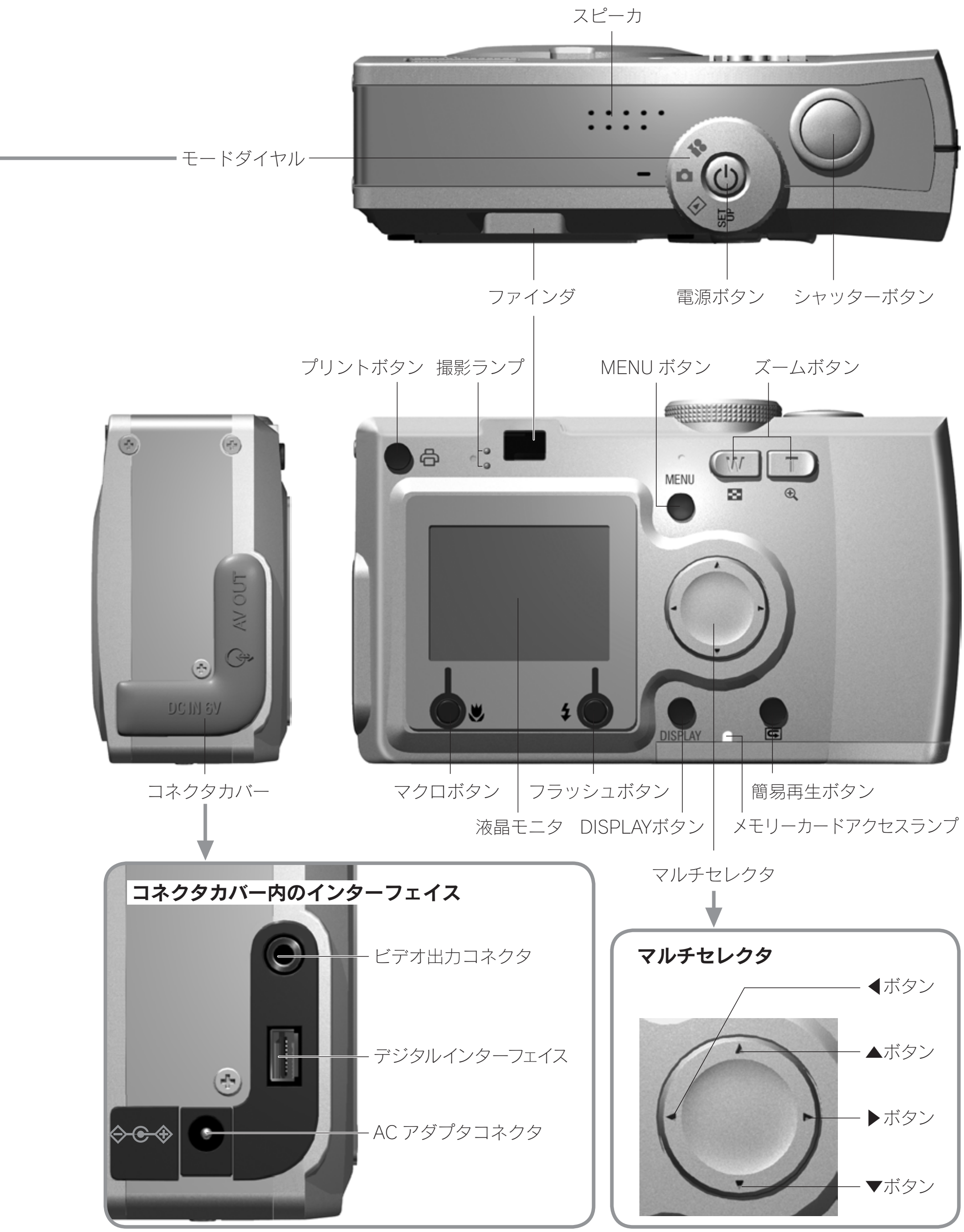
別売りで、専用ケースをご用意しています。

各部の名称


モードダイヤル
動画モード
撮影モード
再生モード
SET UP モード
SET UP


ストラップ留め具
調光センサ
レンズ
フラッシュ
マイク
EPSON
EPSON
f=5.6-16.8mm F2.8-4.9
イルミネーションランプ


電池 / メモリーカードカバー
BATT.
三脚用ネジ穴


スピーカ
モードダイヤル
ファインダ
電源ボタン
シャッターボタン
プリントボタン
撮影ランプ
MENU ボタン
ズームボタン
MENU
W
T
AV OUT
DC IN 6V
DISPLAY
SET UP
コネクタカバー
マクロボタン
フラッシュボタン
簡易再生ボタン
液晶モニタ
DISPLAYボタン
メモリーカードアクセスランプ
マルチセレクタ
コネクタカバー内のインターフェイス
ビデオ出力コネクタ
デジタルインターフェイス
AC アダプタコネクタ
マルチセレクタ
◀ボタン
▲ボタン
▶ボタン
▼ボタン

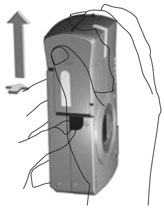
メモリーカードの着脱と電池のセット

電池 / メモリーカードカバーの開閉

ポイント

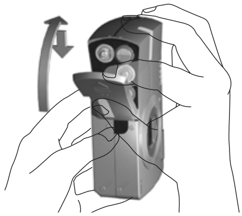
電池 / メモリーカードカバーを開閉するときには、必ずカメラの電源が入っていないことを確認してください。

カバーの開け方



カバーを少し押し気味に、矢印の方向にスライドさせて、電池カバーを開きます。

カバーの閉じ方



カバーを少し押し気味に、カチッというまで矢印の方向にスライドさせてください。

メモリーカードの装着と脱着

メモリーカードはカメラ（電池室のとなり）に装着されて出荷されます。撮影前にメモリーカードが装着されていることを確認してください。



メモリーカードの装着

メモリーカードの表裏と方向に注意して、カードスロットに突き当たるまで（カチッと音がします）まっすぐに差し込みます。

メモリーカードの脱着

メモリーカードを押すと、メモリーカードが飛び出ます。メモリーカードをつまんで引き出してください。メモリーカードは、一度押せば装着され、もう一度押すと飛び出す仕組みです。

注　意

メモリーカードは精密な電子部品で作られています。次のような取り扱いや操作は、動作不良や故障の原因になりますので絶対に避けてください。

・端子部に手や金属で触れないでください。静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。取り扱う前に、接地されている金属に手を触れるなどして、必ず身体に帯電している静電気を放電してください。
・曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
・熱・水分・直射日光を避けて使用、保管してください。
・分解や改造はしないでください。

MEMO

マルチメディアカードも使用できます

メモリーカードは、SD メモリーカードとマルチメディアカード(MMC)が使用できます。(107、113ページ参照)

MEMO

次の場合、メモリーカードを取り出す必要があります。
・メモリーカードに保存された画像を、直接パソコンにコピーする場合。
・メモリーカードスロットを装備したプリンタで印刷する場合。

電池のセット

電池のセットは＋－を間違えないように正しくセットしてください。



電池の入れ方

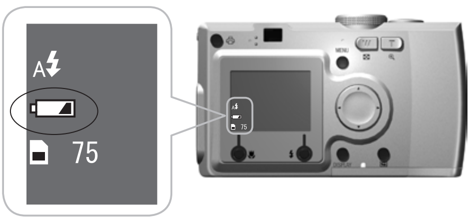
電池の＋－の向きを間違えないように、電池をセットします。

MEMO
使用できる電池は 113 ページをご覧ください。

注意
電池の＋－の向きに注意して正しくセットしてください。向きを間違えると、液もれや発熱などにより、けがや汚損、あるいはカメラが損傷するおそれがあります。

電池残量の確認

電池残量が少なくなると、液晶モニタの電池アイコンが、 から に変わります。



電池残量アイコン

アイコンが に変わったら

電池残量が少なくなっています。交換用の電池を用意してください。

アイコンが点滅したら

電池がなくなり、撮影することができません。 アイコンが点滅した後（同時に、赤色の撮影ランプが点滅します）、自動的に電源が切れます。

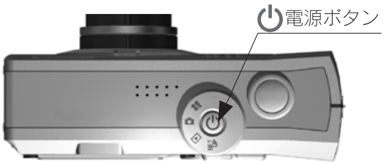
注意
- 電池交換の際は、同一銘柄の新しい電池を４本同時に交換してください。
- 電池寿命は、電池の銘柄やグレードにより異なります。また、使用環境や撮影モード、撮影状況などにより異なります。
- 乾電池は、充電・再使用することができません。

MEMO
電池残量が少なくなったり、電池がなくなっても、AC アダプタに接続すれば、そのまま使用できます。（42 ページ参照）

- 使用済み乾電池は、お住まいの市区町村の指示に従って廃棄してください。
- 充電式電池は、専用充電器で充電して、電池が寿命になるまで繰り返し使用できます。
- 寿命になった充電式電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

初回設定をする

電源を入れる / 電源を切る



MEMO 本カメラは、一定時間が経過すると節電機能が働き、自動的に電源が切れ、電池の無駄な消費を防ぎます。(104 ページ参照)

電源の入れ方

電源ボタンを押すと電源が入ります。撮影モードではレンズバリアが開き、レンズが前に出ます。

電源の切り方

もう一度電源ボタンを押すと電源が切れます。レンズが出ている場合は、レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。

初回設定

初めてお使いになるときに行う設定です。
一度設定すれば再設定の必要はありません。





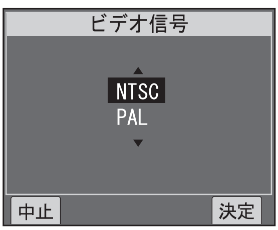
1. 言語の選択

初めて電源を入れると「言語選択」画面が表示されます。
▲▼ボタンで「日本語」を選択し、フラッシュボタンを押してください。(109 ページ参照)



2. 日時の設定

「日時設定」画面に変わります。
▲▼ボタンで正しい数値を入力してください。
◀▶ボタンを押すと項目が移動します。
フラッシュボタンを押すと、設定が有効になります。
マクロボタンを押すと日時設定の変更が無効になります。
▲▼ボタンを押し続けると、数値を早送りできます。
日時の設定は後からでも変更できます。(105 ページ参照)



3. ビデオ信号の設定

「ビデオ信号の設定」画面になります。
▲▼ボタンで「NTSC」を選択し、フラッシュボタンを押してください。(109 ページ参照)
これで初回設定が完了しました。

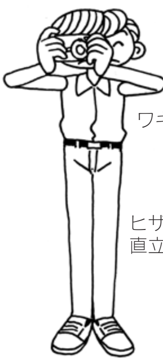
基本的な使い方

フルオートでの基本的な使用方法と解説

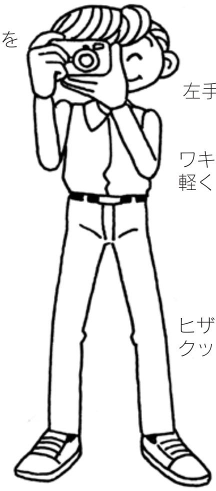
カメラの持ち方・シャッターの切り方

カメラの持ち方、シャッターの切り方に、特に決まりはありませんが、それらをマスターすることで、手ぶれ・ピンぼけなどの失敗を未然に防ぐことができます。

悪い例



良い例（ヨコ位置）





液晶モニタ使用時（ヨコ）
液晶モニタを使った撮影では､左手のＬ字を保ったまま、肩の力を抜いて前方に押し出します。

良い例（タテ位置）





液晶モニタ使用時（タテ）
シャッターボタンは親指で。左手の指でカメラを覆うと明るいところでも液晶モニタが見やすくなります。

気をつけて
P.I.F. 撮影では、カメラの上下が逆になることがあります。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し ▼ 撮影ランプが点灯、あるいは点滅します
全押し ▼ シャッターが切れます

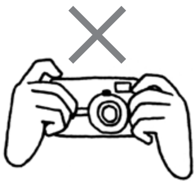


全押しと半押し

シャッターボタンは二段式になっています、軽くボタンを押し緑のランプが点灯あるいは点滅した状態を「半押し」、さらに押し込んだ状態を「全押し」といいます。
半押し状態では、ピントや露出を合わせ、全押し状態ではシャッターが切れます。



左手はＬ字に、人差し指を立てない。
左手はＬ字にしてレンズやフラッシュに指が掛からないようにしましょう。また、人差し指が立つと、シャッターボタンを勢いよく押してしまい、手ぶれの原因になり、しかも、半押しが上手にできません。



撮影範囲

通常の撮影は、被写体までの距離が 50cm 以上で行います。
50cm より近づいて撮影したい場合はマクロ撮影をしてください。（52 ページ参照）



撮影する

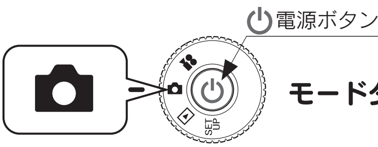
ここでは簡単に撮影する手順について説明しています。

液晶モニタを使った撮影

ピントや撮影範囲の確認をしたい場合は、液晶モニタを見ながら撮影します。撮影後、すぐに画像を確認して消去することもできます。

注意

レンズに指がかからないようにご注意ください。また、レンズを指で押さえるなど無理な力をかけないようにご注意ください。動作不良や故障の原因となります。



モードダイヤルを「撮影モード」にしてください。

1 電源ボタンを押して電源を入れます。

レンズバリアが開き、レンズが前に出ます。
カメラがとらえている画像が、液晶モニタに表示されます。

2 被写体を液晶モニタ中央のフォーカスフレームに合わせます。



3 シャッターボタンを軽く押して (半押し)、ピントを合わせます。

ピントが合うと緑色の撮影ランプが点灯し、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。緑色の撮影ランプが点滅し、フォーカスフレームが赤色に変わったときは、ピントが合っていません。いったんシャッターボタンから指を放し、再度試みてください。また、50cm 以内ではピントが合いません。マクロモードにしてください。(52 ページ参照)

撮影ランプ（緑）



フォーカスフレーム

④ シャッターボタンをさらに押し込み（全押し）、撮影します。

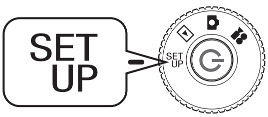
撮影音が鳴り、撮影したことがわかります。撮影音を鳴らさないようにすることもできます。（103ページ参照）

⑤ 撮影が終わったら、電源ボタンを押して電源を切ります。

レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。

クイックビューの ON/OFF

クイックビューとは、撮影終了後、撮影された画像を約 3 秒間表示する機能です。必要に応じて ON/OFF の切り替えができます。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

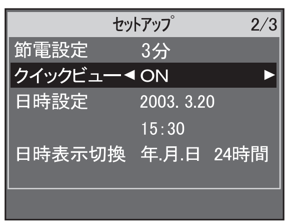


▲▼ボタンで「クイックビュー」を選び、◀▶ボタンで ON/OFF を変更できます。

「クイックビュー」を ON にすると、撮影された画像が液晶モニタに表示されます。

3 秒後、またはシャッターボタン半押しにすると表示が消えます。

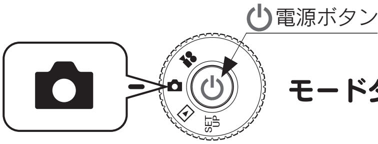
※ファインダ撮影時には、クイックビューは使用できません。



ファインダを使った撮影

普通のカメラと同じように、ファインダを覗いて撮影する手順について説明します。液晶モニタで撮影するときに比べて、電池が長持ちします。

> **注 意**
> レンズに指がかからないようにご注意ください。また、レンズを指で押さえるなど無理な力をかけないようにご注意ください。動作不良や故障の原因となります。



モードダイヤルを「撮影モード」にしてください。

1 電源ボタンを押して電源を入れます。

レンズバリアが開き、レンズが前に出ます。
カメラがとらえている画像が、液晶モニタに表示されます。
※「電源の入れ方」についての説明は、これ以降省略します。

2 DISPLAY ボタンを押して液晶モニタを消します。

※ DISPLAY ボタンの機能については 44 ページをご参照ください。



3 ファインダをのぞいて、被写体を中央部分に合わせます。

ファインダの中央部分を目安にピントを合わせます。


ファインダ内

4 シャッターボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。

ピントが合うと緑色の撮影ランプが点灯します。緑色の撮影ランプが点滅したときは、ピントが合っていません。いったんシャッターボタンから指を放し、再度試みてください。また、50cm以内ではピントが合いません。マクロモードにしてください。(52ページ参照)



5 シャッターボタンをさらに押し込み(全押し)、撮影します。

撮影音が鳴り、撮影したことがわかります。撮影音を鳴らさないようにすることもできます。(103ページ参照)
緑の撮影ランプの点滅が消えたら、次の撮影ができます。

6 撮影が終わったら、電源ボタンを押して電源を切ります。

レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。
※「電源の切り方」についての説明は、これ以降省略します。

気をつけて

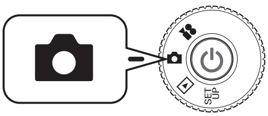
パララックスについて
近距離でファインダを使うと、見える範囲と写る範囲に若干のズレが生じます。この現象を「パララックス(視差)」といいます。ファインダ使った近距離での撮影時にはこの「パララックス」に注意しましょう。

MEMO

撮影時のメニュー表示について
ファインダ撮影時、MENUボタンを押すと液晶モニタにメニューが表示され、撮影の設定ができます。(45、53～63ページ参照)
再度MENUボタンを押すとメニューが消えます。

ピントを合わせたい被写体が中央にないとき

画面の中央に被写体がない場合、ピントが合わないことがあります。そんなときには、いったん画面中央に被写体を置いて半押し（フォーカスロック）し、撮りたい構図に戻してシャッターを切りましょう。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。



1 いったん、ピントを合わせたい被写体が、液晶モニタ中央になるようにカメラを構えます。

（ファインダ撮影時も同様に、ピントを合わせたい被写体が、中央部分になるようにカメラを構えてください。）

撮影ランプ（緑）



2 シャッターボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。

ピントが合うと緑色の撮影ランプが点灯します。（ファインダ撮影時も同様です。）



3 シャッターボタンを半押しのままで、構図を整えます。

4 シャッターボタンをさらに押し込み(全押し)、撮影します。

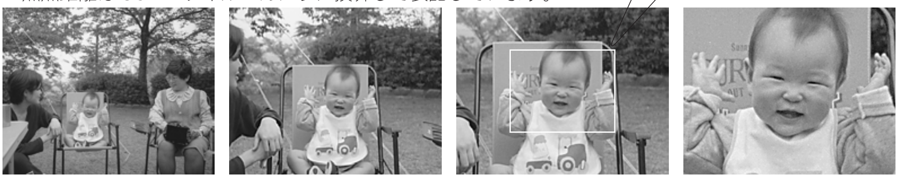
撮影音が鳴り、撮影したことがわかります。

光学ズームとデジタルズーム

本カメラは、3 倍の光学ズームレンズと 2 倍のデジタルズームを搭載しています。液晶モニタ撮影時はデジタルズームが使用できるので、最大 6 倍ズーム相当の撮影が可能です。

この部分が拡大されて表示・撮影されます。

※焦点距離は 35mm フィルムカメラに換算して表記しています。



34mm　　68mm　　102mm　　204mm

光学ズーム（3倍）



ズームボタン **T** を押すと望遠、ズームボタン **W** を押すと広角になります。

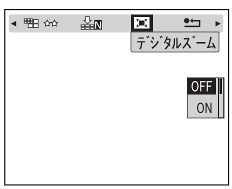
デジタルズーム（2倍）



デジタルズームにするには、ズームボタン **T** を一度押し、光学ズームを望遠側最大にさせた後いったん放し、再度押してください。
光学ズームに戻るには、ズームボタン**W**を一度押してから放し、再度押し続けてください。

MEMO **デジタルズームの ON/OFF の設定**

MENU ボタンを押して、メニュー表示をさせた後、◀▶ボタンで「デジタルズーム」を選択してください。
▲▼ボタンでデジタルズームの OFF/ON を切り替えられます。



MEMO **デジタルズーム時の表示**



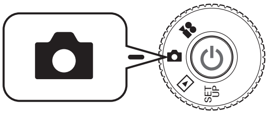
デジタルズーム時にはバーの右に表示が出ます。

気をつけて

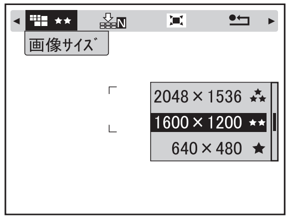
ファインダ撮影時はデジタルズームを使用できません。
デジタルズームで撮影すると画像が劣化します。

撮影品質の設定

目的に応じて、撮影品質（画像サイズと圧縮率）を選ぶことができます。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

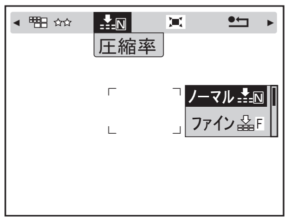


1 MENU ボタンを押し、◀▶ボタンで「画像サイズ」を選びます。

2 ▲▼ボタンで標準、精細、高精細を選びます。

撮影品質 単位はピクセル

撮影品質	通常	デジタルズーム
標準 ★	640 × 480	640 × 480
精細 ★★	1600 × 1200	1024 × 768
高精細 ★★★	2048 × 1536	1024 × 768



3 MENU ボタンを押し、◀▶ボタンで「圧縮率」を選びます。

ノーマルは高圧縮で、ファインと比較して画像はやや劣化しますが、ファイルサイズが小さくなります。
ファインは低圧縮できれいな画像を保ちますが、ファイルサイズは大きくなります。

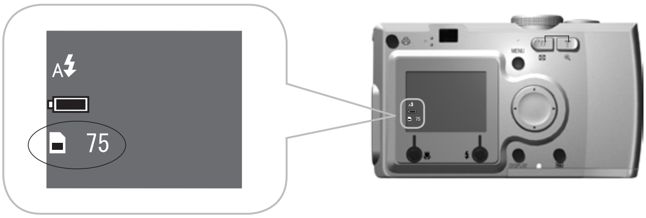
4 ▲▼ボタンでノーマル、ファインを選びます。

MEMO

撮影品質の設定について
- 撮影品質の設定により撮影可能枚数の数値が変わります。（次ページ参照）
- 設定はカメラの電源を切っても記憶されます。
- 動画撮影では、撮影品質を設定することはできません。
- 工場出荷時はノーマルに設定されています。
  圧縮率を低くし、画質を良くすることができます。（次ページ参照）ただしファイルサイズが大きくなるため、撮影可能枚数は少なくなります。

撮影可能枚数の確認

液晶モニタに撮影可能枚数が表示されます。撮影時の目安としてお使いください。



撮影可能枚数

撮影可能枚数の目安

撮影品質	撮影可能枚数（同梱 16MB）	
圧縮率 / 画像サイズ	ノーマル	ファイン
標準 ★	約 127 枚	約 68 枚
精細 ★★	約 35 枚	約 17 枚
高精細 ★★★	約 21 枚	約 10 枚

※同梱の SD メモリーカードには、フレームのデータが入っていますので、撮影可能枚数は若干少なくなります。

気をつけて

撮影可能枚数について

・値は当社測定条件によります。
・表示される数字は撮影可能枚数の目安を表すもので、撮影を保証する枚数ではありません。
・撮影品質の設定によって表示される枚数が変わります。
・撮影毎に数字が減るとは限りません。これは、被写体によって画像ファイルの容量が異なり、撮影毎に残りの撮影可能枚数を計算し、表示するためです。
・動画撮影を行うと、撮影できる枚数が減ります。
・撮影可能枚数は最大 9999 枚です。

解説

SD メモリーカードとマルチメディアカード（MMC）について

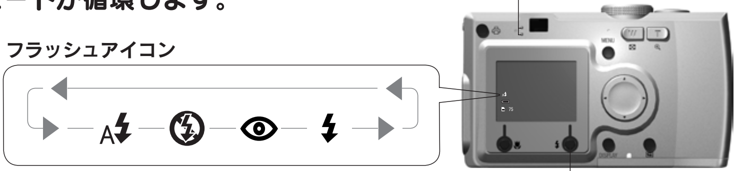
本カメラは、SD メモリーカードとマルチメディアカード（MMC）がご使用になれます。
SD メモリーカードは記録速度が速く、大容量化が進んでいます。
マルチメディアカードは、消費電力が少なく、電池が（若干ですが）長持ちします。
新規にメモリーカードをご購入される場合は、記録速度が速く、ライトプロテクト（107 ページ参照）も可能な SD メモリーカードをおすすめします。

撮影する

フラッシュのコントロール

撮影する状況に応じて、フラッシュの設定を変更することができます。
設定の変更は、液晶モニタのアイコンを確認しながら、⚡フラッシュボタンで行います。

⚡フラッシュボタンを押すごとにモードが循環します。



MEMO 手ぶれ警告
フラッシュ発光禁止やフラッシュ強制発光のとき（スローシャッターシンクロ撮影時）に、シャッター速度が広角側で 1/30 秒、望遠側で 1/60 秒より遅くなると、緑色の撮影ランプが点滅して、手ぶれを警告します。

解説 スローシャッターシンクロ撮影
長時間露光（スローシャッター）中にフラッシュを同調（シンクロ）させるテクニックです。通常、暗いところでフラッシュを使うと背景が暗くなりますが、フラッシュ強制発光にすると、露光時間が延長され（スローシャッターシンクロ撮影になり）、背景も明るく撮ることができます。手ぶれを起こしやすいので三脚などを使い、手ぶれに注意しましょう。

フラッシュアイコンと主な機能

A⚡	自動発光（出荷時設定）	暗いところでは自動的に発光し、明るいところでは発光しません。通常はこの状態でお使いください。
(⚡禁止)	発光禁止	どんなに暗くてもフラッシュは発光しません。フラッシュ禁止の場所や、夜景の撮影などに使用しますが、手ぶれを起こしやすいので注意が必要です。また、連続撮影、動画撮影時は、(⚡禁止)に設定されます。
👁	赤目軽減	夜間や室内での人物撮影時にお使いください。一度予備発光を行い、次に本発光し、目が赤くなるのを緩和します。
⚡	強制発光	周りの明るさに関係なく、いつでもフラッシュが発光します。逆光時（被写体の背景が極端に明るいとき）の補正などに有効です。また、暗いところでは露光時間（シャッター速度）が延長され、スローシャッターシンクロ撮影になります。手ぶれを起こしやすいので注意が必要です。

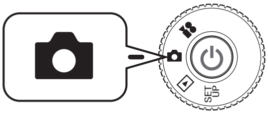
フラッシュの届く範囲

ISO 感度		標準撮影（広角）	標準撮影（望遠）
標準感度	ISO 100	0.5 ～ 2.6m	0.5 ～ 1.5m
中感度	ISO 200	0.5 ～ 3.7m	0.5 ～ 2.1m
高感度	ISO 400	0.5 ～ 5.2m	0.5 ～ 3.0m

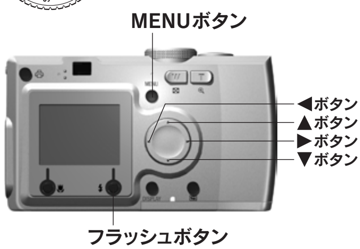
※ISO 感度。（58･59 ページ参照）

セルフタイマを使った撮影

一人で自分の写真を撮るときや、自分自身を含む記念写真を撮りたいときに使います。また、手ぶれが心配な場合に使うと便利です。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れ、MENU ボタンを押してください。





1 ◀▶ボタンで「セルフタイマ」を選びます。



2 ▲▼ボタンで「2 秒」か「10 秒」かを選んでください。

ショートセルフ

夜景・夕景の撮影や、マクロ撮影時は手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれは、シャッターボタンを押した（シャッターが開いている）ときに､カメラが動くことが原因ですから、シャッターボタンを押して 2 秒後にシャッターが切れる「2 秒セルフタイマ（ショートセルフ)」を使えば手ぶれが軽減されます。2 秒間の早い点滅後にシャッターが切れます。

3 被写体をフォーカスフレームに合わせシャッターを切ります。

10 秒セルフタイマの場合、イルミネーションランプが、8 秒間ゆっくり点滅し、点滅が早くなったら 2 秒後にシャッターが切れます。



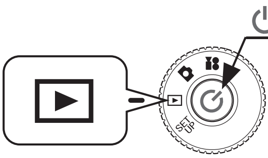
MEMO

- シャッターボタンを押した後で撮影を中止するには、マクロボタンを押します。
- 三脚の使用、カメラを水平で安定した場所に置くなど、カメラを固定して撮影することをお勧めします。

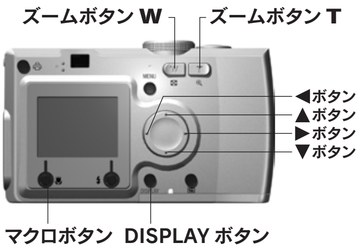
再生する

撮影した写真や動画を、様々な方法で再生する（見る）ことができます。

1 コマずつ再生



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。カメラは再生モードになり、直前に撮影した画像を再生します。







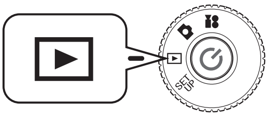
撮影枚数
75 コマ撮影した画像中の 24 コマ目であることを表しています。

◀ボタンを押すと、1 コマ前の画像に戻ります。
▶ボタンを押すと、1 コマ後の画像に進みます。

マクロボタンで選択している画像を消去することができます。（38 ページ参照）
DISPLAY ボタンを押すごとに画面情報の表示・非表示が切り替わります。

画面を分割して表示（6 コマ表示）

液晶モニタ上に 6 コマずつサムネール表示します。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 **ズームボタン W を押して表示を切り替えます。**



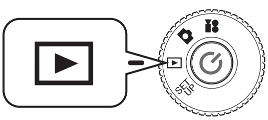
2 **▲▼◀▶ボタンで画像を移動します。**

ズームボタン **T** を押すと 1 コマ表示の画面に戻ります。

> **MEMO**
> 以下のデータが含まれている時は、画面上にアイコンが表示されます。
> : 動画のデータです。（64 ～ 66 ページ参照）
> P.I.F.: P.I.F. 撮影画像のデータです。（46 ～ 51 ページ参照）
> : 他の製品で撮影された画像で、画面に表示できず、プリントもできないデータです。

拡大表示

最大で 4 倍まで拡大表示できます。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

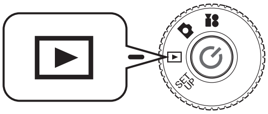
ズームボタンT を押します。

ズームボタン **T** を押すと拡大、**W** ボタンを押しと縮小します。
ズームボタン **W** を押し続けると通常の再生画面に戻ります。
▲▼◀▶ボタンで表示エリアを移動します。
DISPLAY ボタンを押すごとに画面情報の表示・非表示が切り替わります。

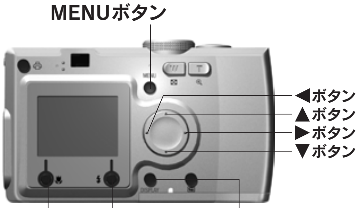


スライドショー

画像を自動で連続再生（スライドショー）します。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。





1 MENU ボタンを押し、◀▶ボタンで「スライドショー」を選択してください。

> **MEMO**
> スライドショーの再生時間（静止画像の表示時間）は、3 秒間です。
> スライドショーが始まると、静止画も動画も連続的に再生されます。



2 フラッシュボタンを押してください。スライドショーが始まります。

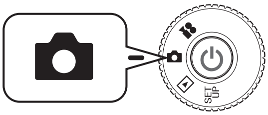
マクロボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと再開します。

フラッシュボタンを押すと終了します。

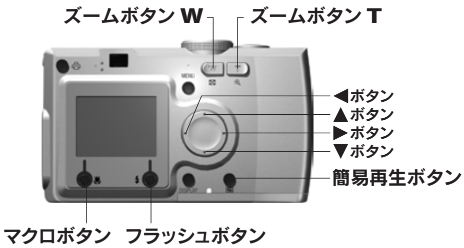


簡易再生

撮影モードのままで、一時的（簡易）に再生することができます。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。





簡易再生ボタンを押してください。
「簡易再生モード」になります。

- W T：ズームボタン **T** で拡大表示できます。ズームボタン **W** で縮小しながら、通常表示サイズに戻ります。
- ◀▶：ボタンで画像を切り替えます。
- マクロボタンで表示画像を消去します。
- 簡易再生ボタンで撮影モードに戻ります。

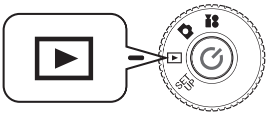


消去する

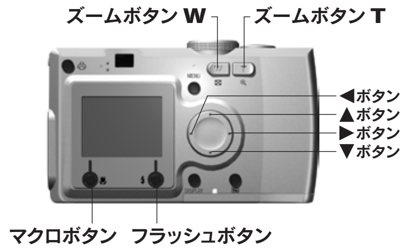
必要のない画像を消去することができます 。

一枚消去

1 コマずつ消去することができます 。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。



1 **消去する画像を◀▶ボタンで選択し、マクロボタンを押してください。**

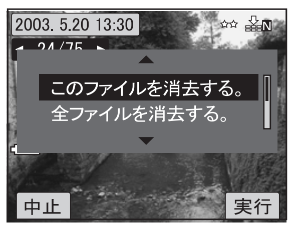
分割表示（6 コマ）するにはズームボタン **W** を押します。



2 **▲▼ボタンで「このファイルを消去する。」を選び、フラッシュボタンを押してください。**

消去を実行しないときは、マクロボタンを押してください。

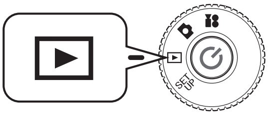
※他のカメラでプロテクトがかけられた画像がある場合「この画像は消去できません。ロックされているか、消去できない画像です。」と表示されます。（123 ページ参照）



3 **消去が完了すると、メモリーカードに画像がある場合は「再生モード」に戻ります。ない場合は「画像がありません。」と表示されます。**

全ての画像を消去

撮影した画像をまとめて消去することができます。

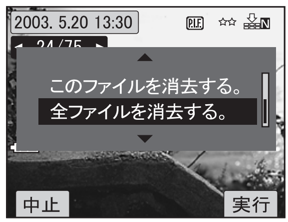


モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。



1 **マクロボタンで消去を選択します。**

分割表示（6 コマ）にして消去を行うには、ズームボタン **W** を押します。



2 **▲▼ボタンで「全ファイルを消去する。」を選びます。**

消去を実行しないときは、マクロボタンを押してください。

3 **フラッシュボタンを押してください。消去確認メッセージが表示されます。**
つぎに、マクロボタンを押すと全ファイルが消去されます。

消去を実行しないときは、フラッシュボタンを押してください。

※他のカメラでプロテクトがかけられた画像がある場合「ロックされているか、消去できない画像がありました。」と表示されます。（123 ページ参照）

4 **消去が完了すると「画像がありません。」と表示されます。**

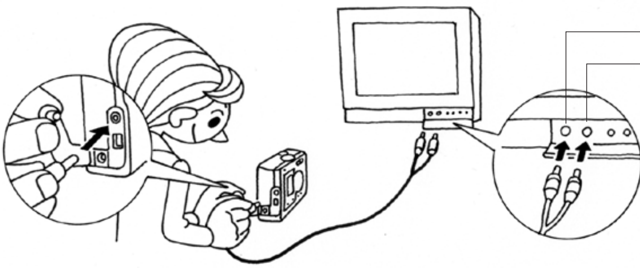
撮影した画像の活用

テレビで見る

ビデオ出力端子を備えているので、テレビなどの機器に接続することができます。

注意
テレビと接続する際は、必ずカメラの電源が入っていないことを確認してください。コネクタカバーは強く引っ張らないでください。破損するおそれがあります。

「ビデオ ケーブル」でカメラとテレビを接続してください。



MEMO
カメラのビデオ信号方式を設定することができます。工場出荷時は [NTSC] に設定されています（日本は NTSC 方式）。設定を変更するには、109 ページをご覧ください。

パソコンに取り込む

撮影した写真をパソコンに取り込んで（コピーして）みましょう。

注意
パソコンと接続する際は、必ずカメラの電源が入っていないことを確認してください。コネクタカバーは強く引っ張らないでください。破損するおそれがあります。

「パソコン接続ケーブル」でカメラとパソコンを接続してください。



※ご使用になるコンピュータの OS によっては、ドライバのインストールが必要です。ドライバソフトは、同梱の CD-ROM に添付されています。詳細は別冊の「ソフトウェアインストールガイド」をお読みください。

パソコンで活用する

本パッケージには「EPSON Photo!4」と「EPSON PhotoQuicker」のソフトが同梱されています。それらのソフトを使えば、デジタル写真の世界がさらに広がります。



EPSON Photo!4 の紹介

デジタルカメラで撮影した画像を、簡単に保存し、閲覧し、管理することができます。
詳しくは同梱の説明書及びオンラインヘルプをお読みください。

EPSON PhotoQuicker の紹介

写真屋さんのような同時プリントはもちろん、お好きなレイアウトを選んで印刷することができます。
詳しくは同梱の説明書及びオンラインヘルプをお読みください。

気をつけて

P.I.F. 撮影された画像をパソコンに移動すると、フレームと写真のリンクが外れます。

カメラを使ってダイレクトプリント

プリントボタンを使い、カメラから直接指定した画像をダイレクトプリント対応プリンタを使って簡単に印刷することができます。カメラを使用するので、画面を見ながら印刷したい画像を選択することや、パソコンがなくても撮影した後すぐにプリントアウト指定ファイルを作成することができます。(67 ページ参照)



携帯電話で活用する



携帯電話にカメラの画像を転送して待ち受け画面などに活用できます。
さらに、転送された画像は専用プログラムでEPSON Photo Album へ登録できます。
また、アルバムを見てほしい人に、招待メールも送信できます。(81 ページ参照)

AC アダプタの使い方

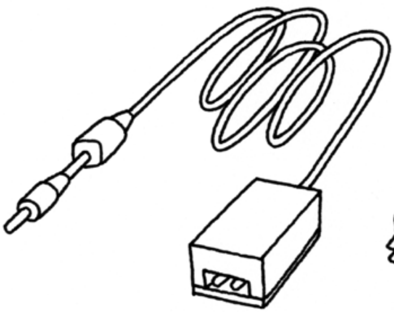
AC アダプタの接続方法を説明します。AC アダプタを使用すれば、ダイレクトプリント時や、パソコン・テレビ・携帯電話などに接続しているときでも、カメラの電池残量を気にすることなく使うことができます。

AC アダプタの接続方法

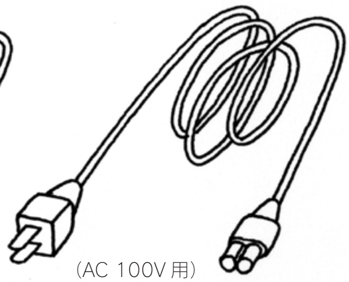
ポイント

・AC アダプタと接続する際は、必ずカメラの電源が入っていないことを確認してください。
・ダイレクトプリントをするときには、AC アダプタの使用をお勧めします。
・カメラに充電池を使用した際、AC アダプタを接続しても充電はできません。

AC アダプタ（型番：A211H）

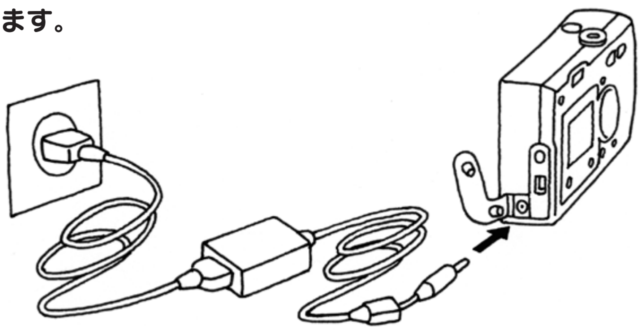


電源ケーブル



（AC 100V 用）

図のように AC アダプタのコネクタを接続します。



注　意

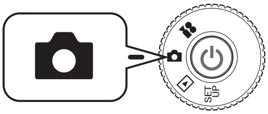
・ご使用に際して、必ず 3 ページの注意をお読みください。
・本機には、必ず同梱の AC アダプタ（型番：A211H）をご使用ください。
またこの AC アダプタを、ほかの製品では使用しないでください。

応用的な使い方

撮影メニューの表示

DISPLAY ボタンと MENU ボタンの機能を説明します。

DISPLAY ボタンの機能



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

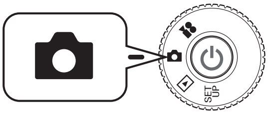
DISPLAY ボタンを押すと、情報表示を消したり、モニタを OFF にできます。DISPLAY ボタンを押すごとに、「情報表示」から、「情報非表示」、「モニタ OFF」と循環します。





DISPLAYボタン

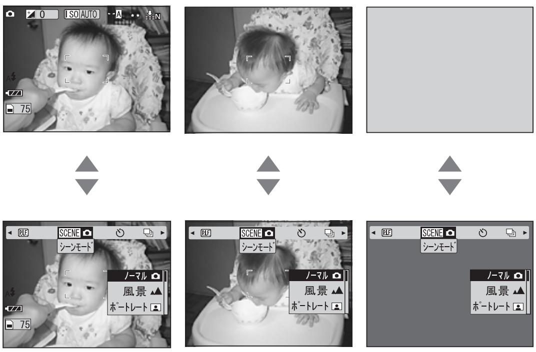
MENU ボタンの機能

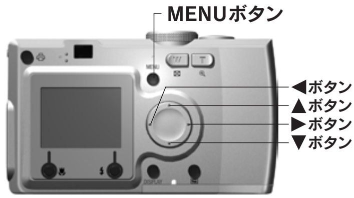


モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

1 **MENU ボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。MENU ボタンを押すごとに、メニューの「表示」、「非表示」が切り替わります。**

情報表示　情報非表示　モニタ OFF





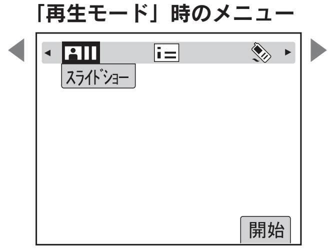
2 **「撮影モード」時に、メニューが表示された状態で、◀▶ボタンを押すと、押すごとに各種メニューが循環します。「再生モード」時は、各種メニューが移動します。**

「撮影モード」時のメニュー



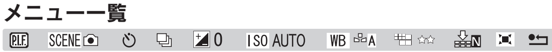
◀▶ボタンでメニューが循環し、画面表示外にあるメニュー（下図）も順次表示されます。

「再生モード」時のメニュー



◀▶ボタンで 3 種類のメニューが移動します。

メニュー一覧



PRINT Image Framer 機能について

PRINT Image Framer（P.I.F.）とは、撮影した写真に、カメラ本体に登録されたフレーム（額縁）をリンクして合成することができる機能です。合成された画像は、「ダイレクトプリント」で印刷することができます。

PRINT Image Framer（P.I.F.）の概念図

撮影した写真



概念図は、ヨコ位置で示してありますが、タテ位置用のフレームもあります。



©DISNEY

フレーム





フレームは、同梱のSDメモリーカードに10枚入っています。また、CD-ROMや、Webサイトから取り込むことができます。
出荷時のカメラに登録されているフレームは1枚ですが、最大2枚まで登録できます。

フレーム合成された画像



©DISNEY
Based on the "Winnie the Pooh" works, by A.A.Milne and E.H.Shepard.



©DISNEY
Based on the "Winnie the Pooh" works, by A.A.Milne and E.H.Shepard.

フレームは印刷するまで画像合成されません。
撮影した写真には影響を与えません。

ヒント

P.I.F. 撮影時には、液晶モニタにフレームの上下がわかるように緑色の線が表示されます。タテ位置で撮影するときにこの緑色の線が上になるように構えてください。

MEMO

P.I.F. 撮影と P.I.F. 印刷

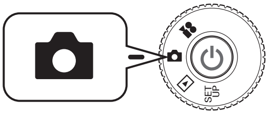
P.I.F. 撮影とは、カメラ内のフレームを指定し、そのフレームに合わせて撮影することです。こうして P.I.F. 撮影された画像は、カメラとプリンタを直接接続して「ダイレクトプリント」することができます。
P.I.F. 撮影された画像をパソコンに移動（コピー）すると、フレームと写真のリンクが外れます。

気をつけて

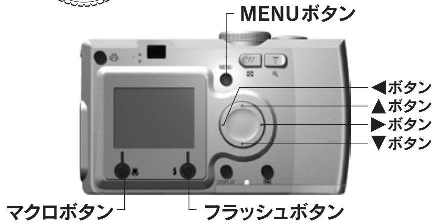
- P.I.F. 撮影した画像を、フレーム付きで携帯電話に転送することはできません。
- P.I.F. 撮影し、DPOF（102 ページ参照）指定されたデータをメモリーカードに入れて PM-860PT で印刷すると、メモリーカードに入っているフレームのひとつが合成されて印刷されることがあります。その場合は、PM-860PT のパネル設定で解除してください。

PRINT Image Framer 撮影 (P.I.F. 撮影)

フレームに合わせて撮影する



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

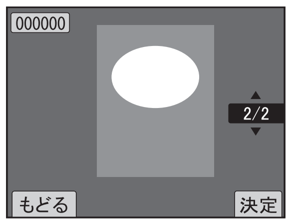


1 MENU ボタンを押し、◀ ▶ボタンで「P.I.F.」を選んでください。
フラッシュボタンを押すと、「P.I.F. フレーム選択」画面になります。



2 ▲▼ボタンで合成したいフレームを選び、フラッシュボタンでフレームを決定します。

マクロボタンを押すと通常の撮影モードに戻ります。



3 液晶モニタにフレームが合成されて表示されます。これで P.I.F. 撮影することができます。

> **MEMO**
> 液晶モニタには、簡略化された白黒画像でフレームが表示されます。

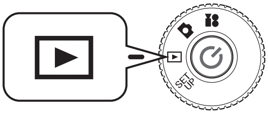


マクロボタンを押すと通常の撮影モードに戻ります。

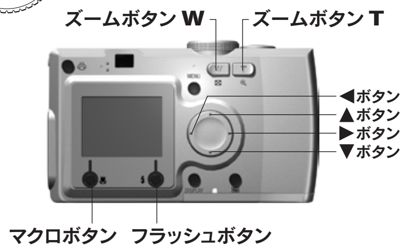
> **MEMO**
> MENU ボタンを押すと画面表示が切り替わり、画面にフレームが合成される以外は、通常の撮影モードと同じようにフラッシュ設定とマクロ撮影が可能になります。

P.I.F. 撮影した画像を見る

フレームが合成されたデータ全体の確認を行うことができます。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。



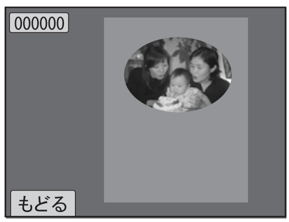
1 フラッシュボタンで「P.I.F. 確認」を選択します。



※フレーム付き画像でない場合、「P.I.F. 確認」は表示されません。

ズームボタン **W** を押すと、分割表示（6 コマ）になります。

2 撮影された画像にフレームが合成されて表示されます。



MEMO

ここでは、フレームの変更はできません。
フレームの変更は、印刷時に行うことができます。
また、フレームを外すこともできます。（75、83 ページ参照）

マクロボタンを押すと「再生モード」に戻ります。

ヒント

ズームボタン **T** で拡大、**W** で縮小することができます。
拡大した画面は▲▼◀▶ボタンでエリアを移動できます。



フレームを更新する

カメラ本体のフレームを更新するには、フレームが入ったメモリーカードを用意する必要があります。同梱の SD メモリーカードには 10 枚のフレームが入っています。また、添付のソフトウエア CD-ROM、またはエプソンの Web サイトから入手できます。

CD-ROM から転送（コピー）する

ポイント **CD-ROM が読み込めるパソコン環境が必要です。**
パソコンには EPSON PRINT Image Framer Tool をインストールしておく必要があります。



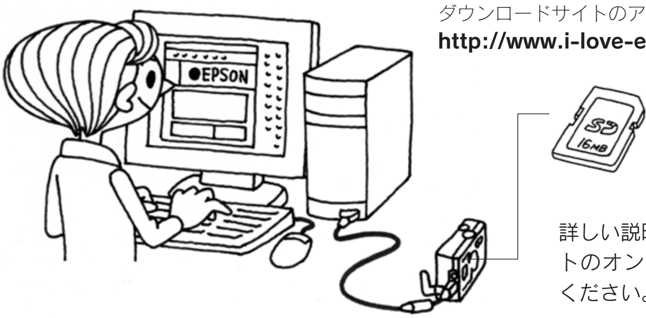
メモリーカードに転送してください。

詳しい説明は、EPSON PRINT Image Framer Tool のオンラインヘルプをご覧ください。

Web サイトから転送（ダウンロード）する

ポイント **インターネットに接続されたパソコン環境が必要です。**
パソコンには CD-ROM に添付されている「EPSON PRINT Image Framer Tool」をインストールしておく必要があります。

ダウンロードサイトのアドレス
http://www.i-love-epson.co.jp/framer



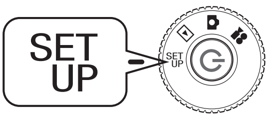
メモリーカードに転送してください。

詳しい説明は、上記 Web サイトのオンラインヘルプをご覧ください。

ポイント **これ以降の説明は、メモリーカードにフレームが転送され、カメラに装着されていることを前提にして行います。**

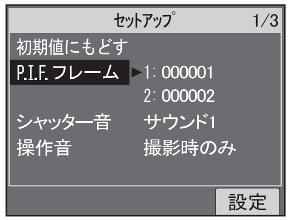
フレームを消去する

カメラ本体のメモリー、あるいはメモリーカードに入っているフレームを消去します。新しいフレームを登録する際、メモリーの容量を超えた場合には、いったん消去する必要があります。



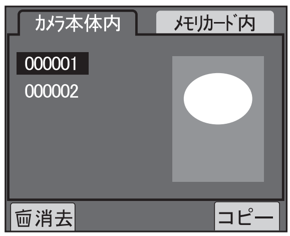
モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

1 **▲▼ボタンで「P.I.F. フレーム」を選択し、▶ボタンか⚡フラッシュボタンを押します。**



2 **「カメラ本体内」のフレームの消去は、▲▼ボタンで消去したいフレームを指定します。**

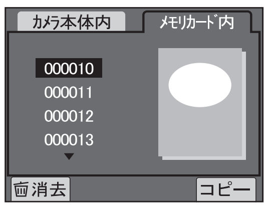
⚡フラッシュボタンを押すと「メモリーカード内」への転送（コピー）になります。



MEMO

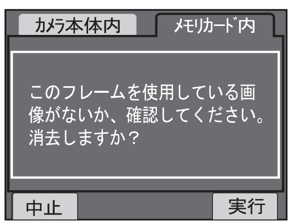
「メモリーカード内」のフレームの消去は、▶ボタンで「メモリーカード内」を選び、▲▼ボタンで消去したいフレームを指定します。

⚡フラッシュボタンを押すと「カメラ本体内」への転送（コピー）になります。



3 **マクロボタンを押すと、消去確認のメッセージが表示されます。つづいて⚡フラッシュボタンを押すと、指定したフレームが消去されます。**

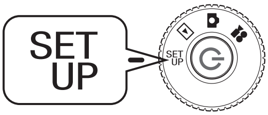
マクロボタンを押すと消去を中止します。



フレームの更新

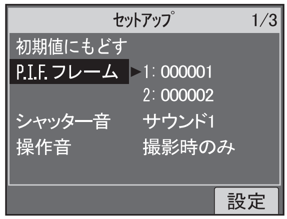
フレームを登録する

メモリーカードからカメラ本体へフレームを転送（コピー）し、フレームを登録します。カメラ本体に登録できるフレームは、最大 2 つまでです。（カメラ本体からメモリーカードへのコピーも可能です。）



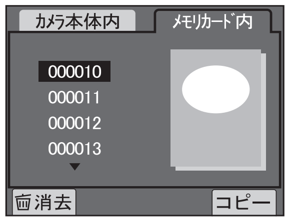
モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

1 **▲▼ボタンで「P.I.F. フレーム」を選択し、▶ボタンか⚡フラッシュボタンを押します。**



2 **「メモリーカード内」から「カメラ本体内」に転送し登録するには、▶ボタンで「メモリーカード内」を選び、▲▼ボタンで登録したいフレームを指定します。**

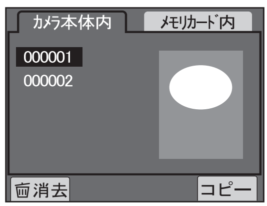
🌷マクロボタンを押すと消去になります。



MEMO

「カメラ本体内」から「メモリーカード内」へ転送するには、◀ボタンで「カメラ本体内」を選び、▲▼ボタンで転送したいフレームを指定します。

🌷マクロボタンを押すと消去になります。



3 **⚡フラッシュボタンを押すと、メッセージが表示され、再度⚡フラッシュボタンを押すと、フレームが転送されてカメラ本体に登録されます。**

🌷マクロボタンを押すと転送を中止します。

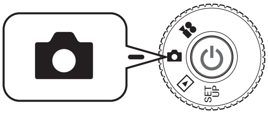
MEMO

カメラ本体のメモリーあるいはメモリーカードに必要な空き容量がない場合は「カメラ本体のメモリーの空き容量が足りません。」あるいは「メモリーカードの空き容量が足りません。」とメッセージがでます。その場合は不要なフレームを消去してください。

マクロ撮影

マクロ撮影では、ピントを合わせる範囲が通常より近距離側に移動しますので、被写体に近づいて撮影することができます。11 〜 50cm の距離で撮影することができます。50cm より遠い被写体を撮るときは、通常撮影に戻してください（23 ページ参照）

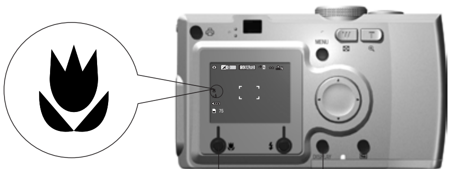
マクロ撮影



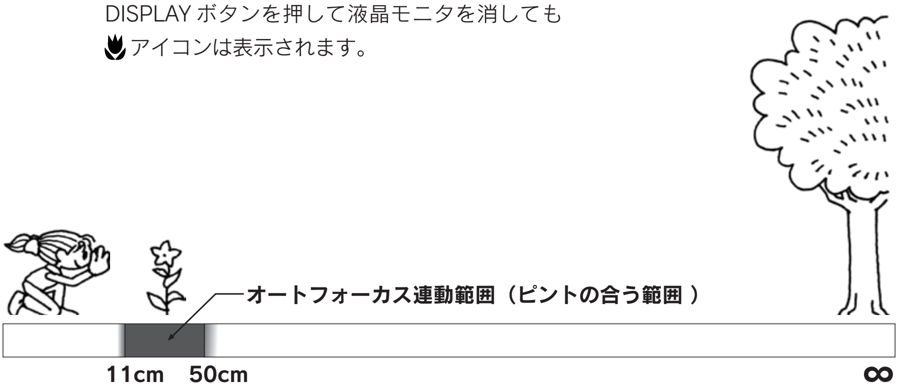
モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

マクロボタンを押すと「マクロモード」になります。

マクロ撮影では、レンズ位置が自動的に広角側にセットされます。
ズーム機能は使えません。



DISPLAY ボタンを押して液晶モニタを消しても
アイコンは表示されます。





液晶モニタを使用せず、ファインダでマクロ撮影をする時には、パララックスに注意しましょう。（27 ページ参照）
近距離でフラッシュ発光した場合、撮影した画像が明るすぎることがあります。フラッシュ撮影の距離は 32 ページをご覧ください。

マクロ撮影

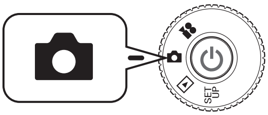
連続撮影

シャッターボタンを押し続けることで連続撮影が可能になります。

連続撮影

気をつけて

連続撮影では、フラッシュは発光しません。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンで 「連続撮影」を選択してください。



2 **▲▼ボタンで「ON」を選びます。**

3 **シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。**

DISPLAY ボタンを押して画面表示にすると、
アイコンの位置に アイコンが表示されます。



撮影可能枚数

撮影品質	撮影可能枚数	
圧縮率 / 画像サイズ	**ノーマル**	**ファイン**
標準 ★	約 31 枚	約 16 枚
精細 ★★	約 8 枚	約 5 枚
高精細 ★★★	約 4 枚	約 4 枚

気をつけて

撮影可能枚数は、撮影品質の圧縮率やメモリーカードの残り容量および撮影条件によって異なります。

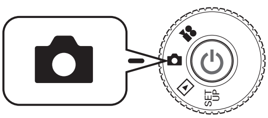
シーンモード

シーンモードとは、撮影する被写体や状況（シーン）に応じて、できるだけ失敗なくきれいな写真が撮れるように最適な組み合わせを組み込んだモードです。



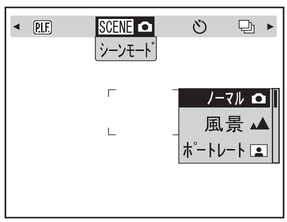
シーンモードを切り替えることで、被写体と状況に応じた撮影が簡単にできます。
また、PRINT Image Matching（68 ページ参照）が有効に働き、最適なプリントが得られます。

シーンモードの選択



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンでSCENE 「シーンモード」を選んでください。



2 **▲▼ボタンで目的のシーンモードを選びます。**

MEMO

シーンモードとフラッシュのコントロール
どのシーンモードでもフラッシュの設定変更（32 ページ参照）が可能です。ただし、暗いところでフラッシュ発光禁止やフラッシュ強制発光に設定すると、露光時間（シャッター速度）が最長 1/2 秒まで延長され、手ぶれを起こしやすくなります。三脚などを使用して手ぶれを起こさないように注意しましょう。

ノーマルモード





ごく一般的な撮影に最適化されています。暗いところでは、フラッシュが自動発光します。
できるだけ失敗しないように工夫されたモードです。

風景モード

風景写真に最適化されています。できるだけ遠くまでピントが合うように設定され、フラッシュは発光禁止になります。
暗いところでは、シャッター速度が延長され夜景の撮影も可能になりますが、暗いところでは手ぶれを起こしやすいので三脚を使いましょう。



ポートレートモード





人物撮影（ポートレート）に最適化されたモードです。ピントの合う範囲が比較的近距離（約１～３ｍ）になり、フラッシュは赤目軽減モード付き自動発光になります。また、暗いところでフラッシュ強制発光にすると、スローシャッターシンクロ撮影（32 ページ参照）になり、背景も明るく撮ることができます。三脚などを使い手ぶれを起こさないように工夫しましょう。

気をつけて

シーンモード設定中に「マクロ撮影」が設定されると、ノーマルモードになります。その後、マクロ撮影が解除されてもノーマルモードのままです。

MEMO

シーンモード時の Exif プリントと、PRINT Image Matching II

シーンモードでは、Exif 2.2 と、PRINT image Matching II の機能が有効に働き、最適なプリントが得られるように工夫されています。

MEMO

その他の撮影モードについて

シーンモードにしても、「セルフタイマ」「画像サイズ」「圧縮率」「連続撮影」「デジタルズーム」、P.I.F. 撮影したフレームなどの設定は変わりません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスとは、どんな光源下でも白いものを白く見せようとする働きのことです。本カメラは、ホワイトバランスが最適になるようにカメラ側で自動的に調整する「オートホワイトバランス」と、光源の色を活かした撮影ができる「ホワイトバランス固定」を、状況に応じて使い分けることができます。

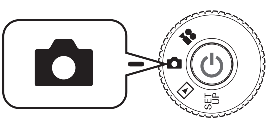
解説

色温度とホワイトバランス

光には「色」があります。光源の色温度が高いと青くなり、低いと赤くなります。人間の目は「順応性」があり、どんな光源でも白いものを白く見ることができますが、カメラは正確に光源の「色」を感じています。

オートホワイトバランス

オートホワイトバランスは、どのような撮影状況においても被写体の持つ色で撮影するように、カメラ側でホワイトバランスを自動的に調節します。通常はこの状態でお使いになることをお勧めします。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

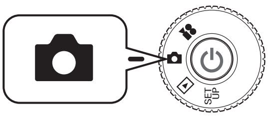
1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンでWB「ホワイトバランス」を選んでください。



2 **▲▼ボタンで「AUTO」を選びます。**

ホワイトバランス固定

ホワイトバランスの設定を「固定」にすることで、光源色の雰囲気を生かした撮影をすることができます。光源色には、「デイライト」「曇天」「白熱灯」「蛍光灯」が用意されていて、各撮影状況に応じてホワイトバランスを固定することができます。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンで[WB]「ホワイトバランス」を選んでください。



2 **▲▼ボタンで「デイライト」、「曇天」、「白熱灯」、「蛍光灯」の中から対応するシーンを選びます。**



ヒント

効果的なホワイトバランスの使い方

◆蛍光灯の色を補正したいとき

・ 通常、蛍光灯下で撮影すると、色被りすることがあります。そのときは、ホワイトバランス固定で「蛍光灯」を試してみましょう。

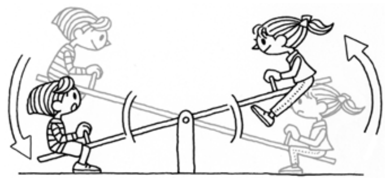
◆白熱電灯などの照明の雰囲気を活かした撮影をしたいとき

・ ホワイトバランス固定で「デイライト」を試してみましょう。夕日が沈むときの色に似ていて、暖かみのある写真になります。

撮影感度

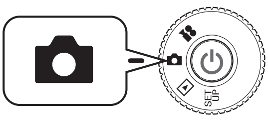
デジタルカメラは、フィルムを使用するカメラと違い、感度が一定ということではありません。本カメラは、状況に応じて自動的に感度を調整する「自動切替」と、撮影者が判断して感度を選べる「ユーザー設定」があります。

解説 一般的に、撮影感度を上げるとピントの合いやすさや、手ぶれの起こりにくさなど撮影条件は有利になりますが、写真のなめらかさや、発色の良さなどの画質は低下します。状況に応じて上手に使い分けましょう。



自動切替

出荷時は「自動切替（AUTO）」に設定されていて、状況に応じて自動的に感度を切り替えています。通常はこの状態でお使いください。設定は液晶モニタで確認することもできます。また、ファインダ撮影時も設定可能です。



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

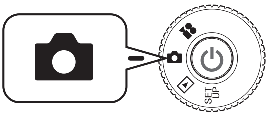
1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。◀▶ボタンでISO「感度」を選んでください。**

2 **▲▼ボタンで「AUTO」を選びます。**



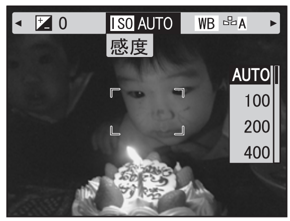
ユーザー設定

感度を手動で切り替えることができます。手ぶれや被写体ぶれが予測されるとき、被写界深度を利用してピントの調整をしたいとき、フラッシュの到達距離を調整したいときなどにご使用ください。

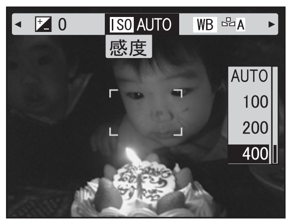


モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。

1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンでISO 「感度」を選んでください。



2 **▲▼ボタンで「100」「200」「400」の中から感度を選びます。**



ヒント

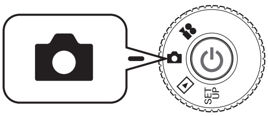
こんな時には高感度「400」を選びましょう

◆通常の撮影では暗くなってしまう場合(フラッシュの禁止されている場所など)
・フラッシュを使わない室内での撮影では手ぶれを起こしがちです。
◆動きのある被写体を撮影する場合
・動きの早い被写体は「被写体ぶれ」を起こします。
◆ズーム撮影で望遠側を使う時や、マクロ撮影する時に手ぶれが心配な場合
・望遠撮影やマクロ撮影では手ぶれが起こりやすくなります。
◆フラッシュを使ってより遠くの被写体を撮影したい場合
・感度を上げると、フラッシュ光の到達距離が伸びます。

露出補正

露出補正とは画像の明るさを調整することです。通常は補正の必要がありませんが、意図的に明るくしたり（＋側に補正）、暗くしたりする（－側に補正）ことができます。
また、カメラの自動露出機能が狂いやすい、逆光線での撮影時にもお使いいただけます。

露出補正



モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。



1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンで「露出補正」を選んでください。

2 **▲▼ボタンで補正する値を選びます。**

露出補正の効果



－ 2.0EV



± 0EV



＋ 2.0EV

MEMO
－ 2.0EV ～＋ 2.0EV までの範囲を 0.5EV 刻みの 9 ステップで設定できます。
設定値は、液晶モニタで確認することもできます。（24、44 ページ参照）また、ファインダ撮影時も設定可能です。



逆光補正をした写真：＋ 1.5EV



補正前の写真



暗めに表現した写真：－ 1.0EV



明るめに表現した写真：＋ 2.0EV



効果的な露出補正の使い方

◆＋側に補正

・白色の被写体が灰色にならないよう、白く撮影したい場合。
（マクロ撮影で白い書類を撮影するときなど）

・逆光の被写体を明るく撮影したい場合。

・快晴の日の砂浜や雪景色、または白い壁を背景にした人物撮影。
（背景が真っ白になってしまう可能性がありますが、人物は明るく撮影できます）

◆－側に補正

・黒色の被写体が灰色にならないように、黒く撮影したい場合。

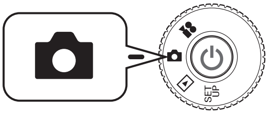
・舞台でスポットライトが当たっている被写体。

・背景が黒い壁での人物撮影。

撮影設定項目の初期化

撮影モードを初期状態に戻します。

撮影設定項目の初期化

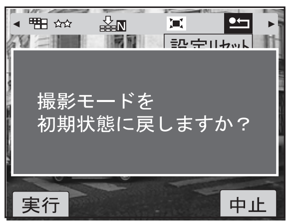


モードダイヤルを「撮影モード」にして、電源を入れてください。



1 MENUボタンを押すと、メニューが表示されます。
◀▶ボタンで、「設定リセット」を選んでください。

フラッシュボタンを押すと設定が確定し、メッセージが表示されます。



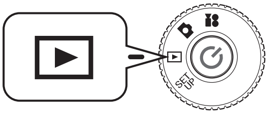
2 マクロボタンを押すと、撮影モードの設定リセットを実行します。

フラッシュボタンを押すと撮影モードリセットを中止します。

撮影情報の表示

撮影したときの条件が画像の詳細情報として確認できます。

撮影情報の表示



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

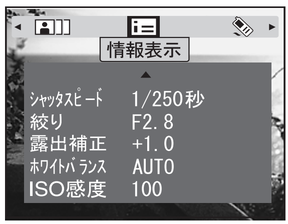
1 **MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。**
◀▶ボタンで、[i☰]「情報表示」を選んでください。

再生されていた画像の撮影情報が表示されます。



2 **▼ボタンを押すと情報の続きが読めます。**

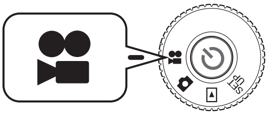
▲ ボタンを押すと前の情報が見られます。



動画撮影

動画（音声付き）の撮影、再生、消去の手順について説明しています。

動画の撮影



モードダイヤルを「動画モード」にして、電源を入れてください。



1 動画撮影画面が表示されます。

> 気をつけて
> 撮影と同時に音声が録音されます。カメラ本体のマイクをふさがなようご注意ください。



2 シャッターボタンを押すと動画撮影を開始します。

撮影中は、液晶モニタの右上に経過時間、左上に「録画中」を表示します。

3 撮影を終了するには、シャッターボタンをもう一度押します。

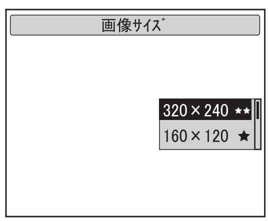
撮影終了後、動画がメモリーカードに転送されます。転送が終了したら次の撮影が可能です。

> 気をつけて
> 動画撮影の際は、最初にピントを合わせてから以後はピント固定となり、撮影中は、ズームを使うことができません。

MEMO

画像サイズの設定

動画モードにしてMENUボタンを押すと「画像サイズ」が表示されます。
▲▼ボタンで320×240ピクセルか160×120ピクセルを選択してください。
再度、MENUボタンを押すと、「画像サイズ」の表示が消えます。



MEMO

動画ファイルについて

動画ファイルはファイル容量が大きくなります。メモリーカードの残量を確かめてから、撮影してください。

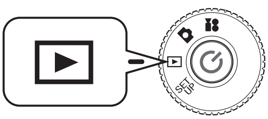
動画撮影可能秒数の目安

画像サイズ	16MB で撮影できる秒数
320 × 240 ★★	約 60 秒
160 × 120 ★	約 150 秒

※同梱の SD メモリーカードには、フレームのデータが入っていますので、撮影可能秒数は若干少なくなります。

動画の再生

撮影した動画を液晶モニタで見ることができます。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 ◀▶ボタンで撮影した動画を選びます。

再生される画像の撮影情報が表示されます。



MEMO

分割表示（6 コマ）するにはズームボタン **W** を押します。動画には 🎥 アイコンが表示されます。



2 ⚡ フラッシュボタンを押すと動画の再生が始まります。

🌷 マクロボタンで一時停止します。再度 🌷 マクロボタンを押すと動画の再生を再開します。



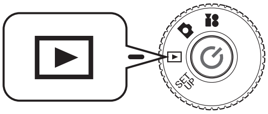
MEMO

音量の調節ができます

▲▼ボタンで音量の調整ができます。

動画の消去

撮影した動画をメモリーカードから消去します。（38 ページ参照）



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 **消去する動画を◀▶ボタンで選択し、マクロボタンを押してください。**

再生された画像の撮影情報が表示されます。

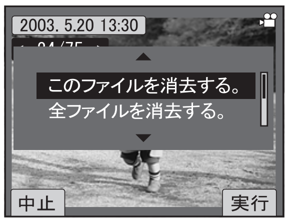
分割表示（6 コマ）にして消去を行うには、ズームボタン **W** を押します。動画には アイコンが表示されます。



2 **▲▼ボタンで「このファイルを消去する。」か「全ファイルを消去する。」を選び、フラッシュボタンを押してください。**

消去を実行しない時は、マクロボタンを押してください。

※他のカメラでプロテクトがかけられた画像がある場合は、メッセージが表示されます。（123 ページ参照）



3 **消去が完了すると、「再生モード」に戻ります。**
メモリーカードに画像がない場合は「画像がありません」と表示されます。

動画撮影

ダイレクトプリント

「ダイレクトプリント」とは

カメラから直接プリンタと接続して印刷する方法を「ダイレクトプリント」といいます。本カメラで撮影した画像は、パソコンを使わず、直接プリンタに接続して印刷することができます。それぞれに対応するプリンタが異なりますので対応機種をご確認の上ご利用ください。

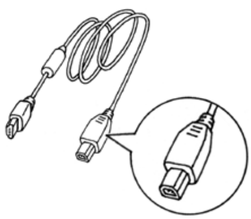


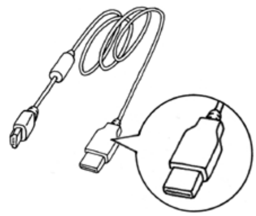
ポイント
ご使用のプリンタの機種により、使用するケーブルが異なります。（下表参照）

対応プリンタの紹介

対応プリンター覧

2003 年 4 月現在

機種名	使用ケーブル
PM-730C	**プリンタ接続ケーブル** 
PM-740C	
PM-740DU	
PM-830C	
PM-840C	
PM-870C	
PM-890C	

機種名	使用ケーブル
PM-860PT	**パソコン接続ケーブル** (USB DIRECT-PRINT) 

MEMO
このカメラで撮影した画像データには、撮影時の各設定の情報を Exif2.2 という方式で埋め込んであります。この情報にはカメラのシーンモードや光源シーンなども含まれていて、PRINT Image Matching II との組み合わせにより、対応プリンタでのプリントをそのシーンに最適なパラメータで印刷する事ができます。

解説

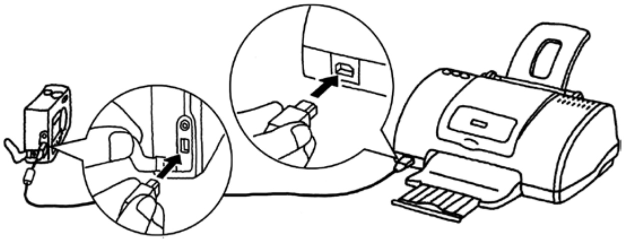


Exif Print と PRINT Image Matching について
Exif Print と PRINT Image Matching とは、この機能を搭載したデジタルカメラと、対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することができるシステムです。本機で撮影すると、効果的にプリントを行うための必要な情報を付加し、プリンタは、このプリント情報に従って印刷しますので、撮影時にカメラが意図した通りの、最適な色合いで印刷することができます。
最新の情報は、エプソン販売のホームページをご覧ください。
http://www.i-love-epson.co.jp

気をつけて
PRINT Image Matching に対応していないプリンタで印刷すると、PRINT Image Matching のプリントコマンドが無効になり、通常の画像データとして扱われます。
また、パソコンを使ってフォトレタッチ（加工・修正）した場合も、PRINT Image Matching のプリントコマンドが無効になります。

「ダイレクトプリント」の手順

接続ケーブルをカメラと対応するプリンタに接続し、プリンタの電源を入れて印刷可能な状態にしてください。※詳しくは、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

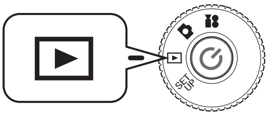


気をつけて
長時間の印刷では電池の消耗が激しくなります。できるだけ AC アダプタを使用してください。

図は、PM-740DU に接続する場合を示しています。他のプリンタに接続する際は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

表示している画像を印刷

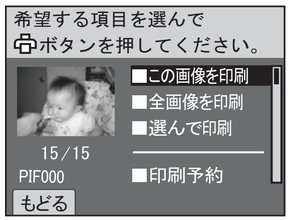
カメラの液晶モニタに表示されている画像のみを印刷します。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 **プリントボタンを押すと、ダイレクトプリントモードになります。**

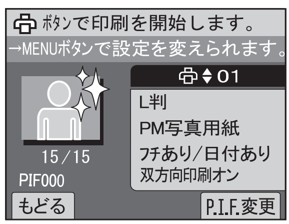
マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。



2 **もう一度 プリントボタンを押し、続いて、▲▼ボタンで印刷枚数を選んでください。**

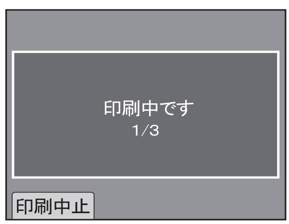
MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）

フラッシュボタンを押すと P.I.F. 変更になります。



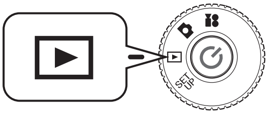
3 **プリントボタンを押すと、印刷を開始します。**

マクロボタンを押すと印刷を中止します。



全ての画像を印刷

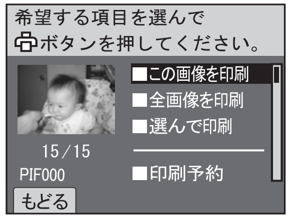
装着しているメモリーカード内の全ての画像を印刷をする手順を説明します。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

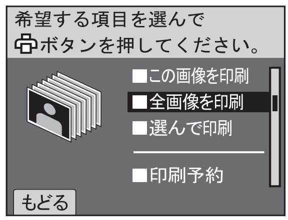
1 **プリントボタンを押すと、ダイレクトプリントモードになります。**

マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。



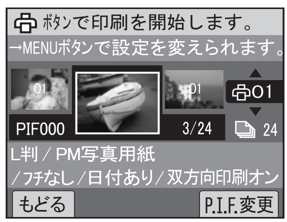
2 **▲▼ボタンで「全画像を印刷」を選び、プリントボタンを押します。**

MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）



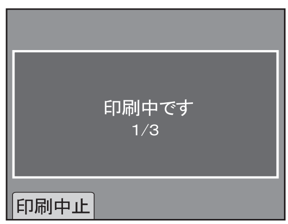
このとき、印刷したい画像と枚数を指定することができます。◀▶ボタンで画像を選び、▲▼ボタンで枚数を選んでください。枚数を「--」に指定するとその画像は印刷されません。何も指定しないと、全ての画像が 1 枚ずつ印刷されます。

マクロボタンを押すとひとつ前の画面に戻ります。
フラッシュボタンを押すと P.I.F. 変更になります。



3 **プリントボタンを押すと、印刷を開始します。**

マクロボタンを押すと印刷を中止します。

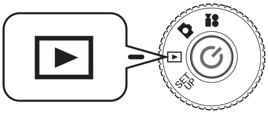


MEMO

・カメラには、印刷の対象となる全ての残り枚数が表示されます。
・PM-860PT では、現在印刷中の画像に対する残り枚数が表示されます。
・カメラと PM-860PT では表示方法が異なります。

画像を選んで印刷

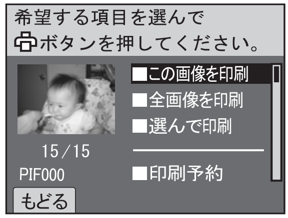
出力したい画像を選んでプリントします。



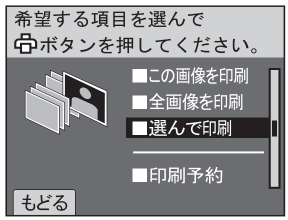
モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 **プリントボタンを押すと、ダイレクトプリントモードになります。**

マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。



2 **▲▼ボタンで「選んで印刷」を選び、プリントボタンを押します。**

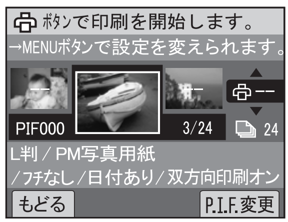


3 **◀▶ボタンで画像を選び、▲▼ボタンで枚数を選んでください。**

マクロボタンを押すと②に戻ります。

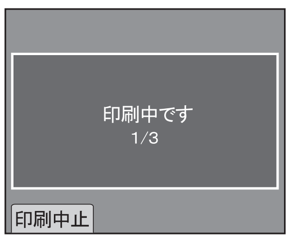
MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）

フラッシュボタンを押すと P.I.F. 変更になります。



4 **プリントボタンを押すと、印刷を開始します。**

マクロボタンを押すと印刷を中止します。



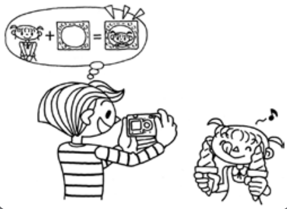


DPOF ファイル（102 ページ参照）が存在する時は、指定を反映するかどうかを聞くメッセージが表示されます。反映しない場合は、全画像の枚数が「0 枚」にセットされます。

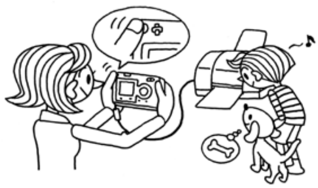
PRINT Image Framer 印刷（P.I.F. 印刷）について

P.I.F. 撮影した画像は「ダイレクトプリント」でお楽しみいただけます。P.I.F. 撮影した画像を「ダイレクトプリント」以外の方法で印刷すると、フレームのリンクが外れ、通常の写真（フレームなし）の印刷になります。

P.I.F. 撮影をする



「ダイレクトプリント」で印刷



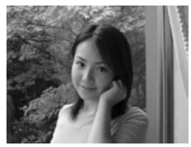


正しく印刷されます。

パソコンに転送して印刷





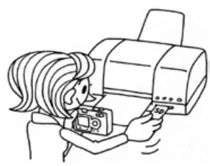


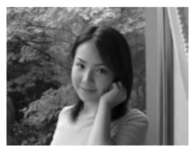
P.I.F. 撮影した画像をパソコンに転送すると、フレームのリンクが外れ、正しく印刷できません。
最新のフレームはWebサイトからダウンロードできます。
http://www.i-love-epson.co.jp/framer

メモリーカードで印刷



メモリカードスロット付きプリンタ（PM-860PT など）で印刷





フレームなしで印刷されます。

一般のデジタルプリントショップで印刷





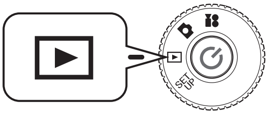
フレームなしで印刷されます。

気をつけて
P.I.F. 撮影し、DPOF（102 ページ参照）指定されたデータをメモリーカードに入れて PM-860PT で印刷すると、メモリーカードに入っているフレームのひとつが合成されて印刷されることがあります。その場合は、PM-860PT のパネル設定で解除してください。

PRINT Image Framer 印刷（P.I.F. 印刷）の方法

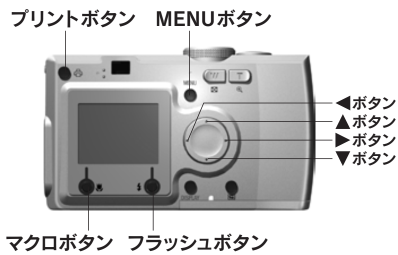
P.I.F. 撮影した画像の印刷（表示している画像を印刷）

P.I.F. 撮影した写真にフレームを合成して、カメラから「ダイレクトプリント」する方法を説明します。



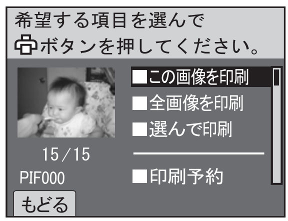
モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 P.I.F. 撮影された画像を選んで、液晶モニタに表示させてください。



2 プリントボタンを押すと、ダイレクトプリントモードになります。

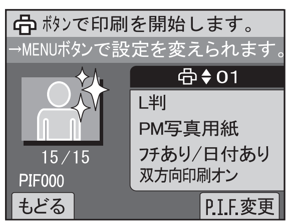
マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。



3 プリントボタンを押すと、印刷を開始します。

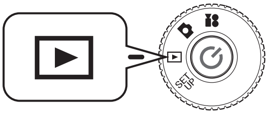
MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）

マクロボタンを押すと②に戻ります。



P.I.F. 撮影した画像の印刷（全画像を印刷 / 選んで印刷）

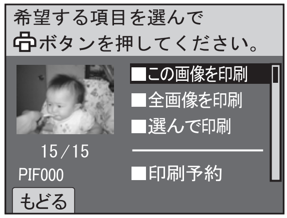
P.I.F. 撮影した写真にフレームを合成して、「全画像を印刷」する方法と、「選んで印刷」する方法を説明します。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

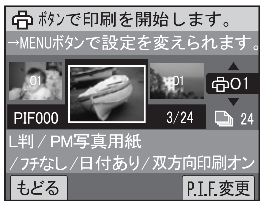
1　プリントボタンを押してください。液晶モニタがプリント画面になります。

マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。

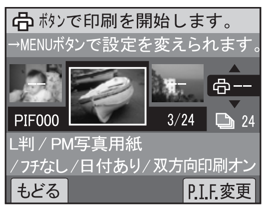


2　▲▼ボタンで目的の「印刷モード」を選び、プリントボタンを押します。

「全画像を印刷」を選択すると、全ての画像を印刷します。その際、P.I.F. 撮影されていない画像は通常の印刷になります。
印刷しない画像や印刷枚数を指定することもできます。（70 ページ参照）



「選んで印刷」を選択すると、選択した画像のみが印刷されます。その際、P.I.F. 撮影されていない画像は通常の印刷になります。
印刷したい画像と枚数を指定することができます。（71 ページ参照）





DPOF ファイル（102 ページ参照）が存在する時は、指定を反映するかどうかを聞くメッセージが表示されます。反映しない場合は、全画像の枚数が「0 枚」にセットされます。

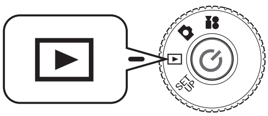
3　プリントボタンを押すと、印刷を開始します。

MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）

マクロボタンを押すと②に戻ります。

フレームの変更

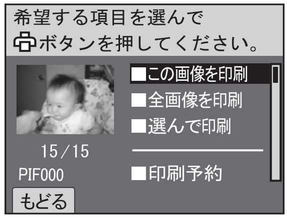
カメラから印刷する時にフレームを変更できます。



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

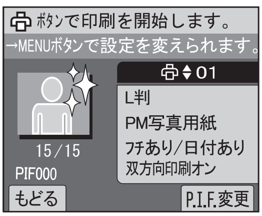
1 **1コマ再生の場合は、◀▶ボタンで、6コマ再生の場合は▲▼◀▶ボタンで、印刷したい画像を選択してください。プリントボタンを押すと、プリント画面になります。**

印刷モードについては 69 ～ 71 ページを参照。

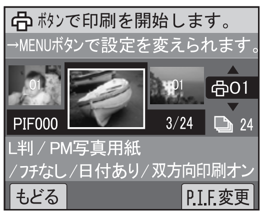


2 **▲▼ボタンで「印刷モード」を選び、プリントボタンを押します。**

MENU ボタンを押すと印刷設定を変更できます。（76 ページ参照）



「この画像を印刷」画面



「全画像を印刷」画面



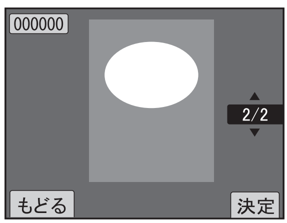
「選んで印刷」画面

3 **フラッシュボタンを押すと「P.I.F. 変更」になります。**

マクロボタンを押すと②に戻ります。

4 **▲▼ボタンで変更（使用）したいフレームを指定してください。**
「---」を指定するとフレームを外すことができます。

マクロボタンを押すと②に戻ります。

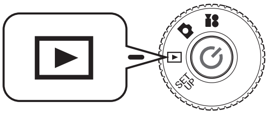


5 **フラッシュボタンを押すとフレームが決定します。**

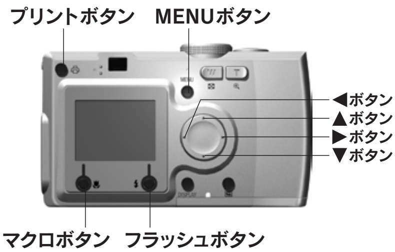
各種印刷設定

より良いプリントを得るための、各種印刷設定の方法を説明します。

印刷設定の方法

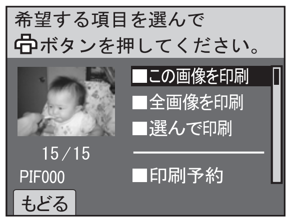


モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。



1 **プリントボタンを押すとダイレクトプリントモードになります。**

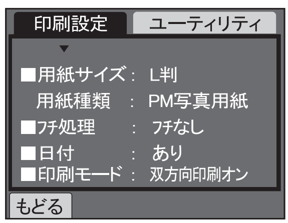
マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。



2 **▲▼ボタンで「印刷モード」を選び、プリントボタンを押します。**

3 **MENU ボタンを押すと「印刷設定」になります。**

MENU ボタン、またはマクロボタンを押すと②に戻ります。
◀▶ボタンを押すと「ユーティリティ」になります。

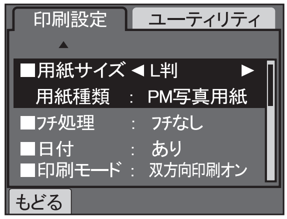


これ以降の操作は共通で、4 に続きます。

各種印刷設定

用紙の設定

プリントする用紙のサイズを設定します。



4 **▲▼ボタンで「用紙サイズ」を選んでください。**

MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

5 **◀▶ボタンで設定を変更します。**

MENU ボタン、またはマクロボタンを押すと②に戻ります。

MEMO

用紙サイズと用紙の種類の組み合わせは、「L 判 /PM 写真用紙」、「ハガキ /PM 写真用紙」、「官製ハガキ / インクジェット紙」の中から選べます。

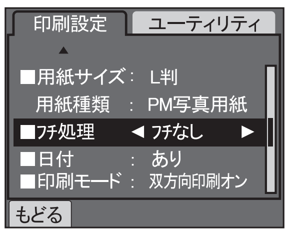
L 判	◀▶	ハガキ	◀▶	官製ハガキ
PM 写真用紙		PM 写真用紙		インクジェット紙

気をつけて

PM-860PT で官製ハガキ（インクジェット紙）に印刷するには、プリンタ本体のファームウェアをアップデートする必要があります。アップデートファイルは同梱の CD-ROM に収録されています。CD-ROM 内の「860PTUP.PDF」をご覧になり、アップデートを行ってください。コンピュータをお持ちでないお客様は、カラリオインフォメーションセンター（裏表紙参照）へお問い合わせください。

フチなし / フチあり印刷の選択

プリントのフチなし / フチありを設定します。



4 **▲▼ボタンで「フチ処理」を選んでください。**

MENU ボタン、またはマクロボタンを押すと②に戻ります。

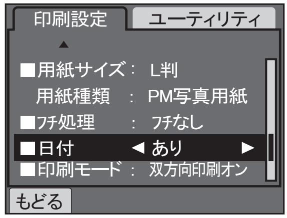
5 **◀▶ボタンで設定を変更します。**

MENU ボタン、またはマクロボタンを押すと②に戻ります。

日付の印刷の有無を選択

写真には撮影した日時（年月日や日時分）が記録されています。印刷の際、その日付印刷の有無を設定します。

76 ページから続きます。



4 **▲▼ボタンで「日付」を選んでください。**

MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

5 **◀▶ボタンで設定を変更します。**

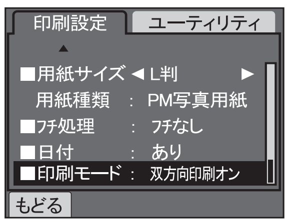
MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

> **MEMO**
> P.I.F. 撮影された画像を「ダイレクトプリント」すると､フレームの合成を優先させるため、日付の印刷ができません。
> なお、フレームの合成指定がない場合は、日付の印刷は有効に反映されます。

双方向印刷オン / オフの選択

印刷の双方向印刷オン（はやい）と、双方向印刷オフ（きれい）を設定します。

76 ページから続きます。



4 **▲▼ボタンで「印刷モード」を選んでください。**

MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

5 **◀▶ボタンで設定を変更します。**

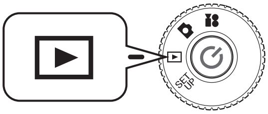
MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

> **MEMO**
> ・用紙サイズ、プリンタの種類により、印刷結果は若干異なります。
> ・液晶モニタ上の P.I.F. 確認と、印刷結果は若干異なります。
> ・PM-860PT で印刷する際、カメラの指定が「双方向印刷オン」のときは「高画質」印刷、「双方向印刷オフ」のときは「最高画質」印刷として認識されます。

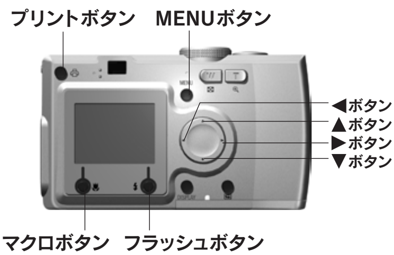
プリンタ用ユーティリティの使用

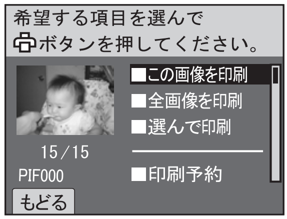
プリンタユーティリティの使用方法を説明します。

プリンタユーティリティの設定方法



モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。





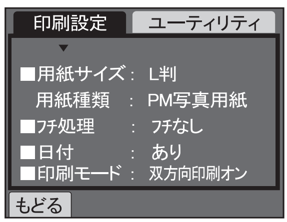
1 **プリントボタンを押すとダイレクトプリントモードになります。**

マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。

2 **▲▼ボタンで「印刷モード」を選び、プリントボタンを押します。**

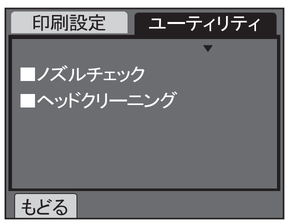
3 **MENU ボタンを押してください。「印刷設定」になります。**

MENU ボタン、またはマクロボタンを押すと②に戻ります。



4 **▶ボタンで「ユーティリティ」を選んでください。**

◀ボタンを押すと「印刷設定」になります。

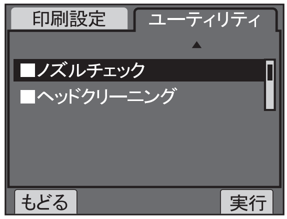


これ以降の操作は共通で、次ページの 5 に続きます。

ノズルチェックパターンの印刷

印刷品質が悪い場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。

79 ページから続きます。



5 ▲▼ボタンで「ノズルチェック」を選んでください。

MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

6 フラッシュボタンを押してください。

このとき､｢ノズルチェックを行います。A4 の用紙をセットしてください。｣とメッセージが表示されます。A4 の用紙をセットして、もう一度、ボタンを押してください。ノズルチェックパターンの印刷を開始します。

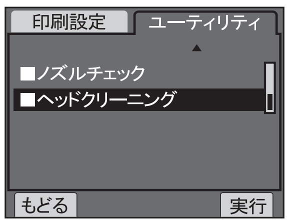
※印刷されたノズルチェックパターンの確認方法につきましては、プリンタに添付の取扱説明書をご覧ください。

気をつけて
プリンタがノズルチェックをサポートしていない場合は、この時点で「お使いのプリンタでは、この機能をカメラから実行できません。」とメッセージが表示されます。その場合は、プリンタの取扱説明書をご覧の上、ノズルチェックを実行してください。

ヘッドクリーニング

印刷に汚れやかすれが見られる時、プリントヘッドのクリーニングを行います。

79 ページから続きます。



5 ▲▼ボタンで｢ヘッドクリーニング｣を選んでください。

MENU ボタン、または マクロボタンを押すと②に戻ります。

6 フラッシュボタンを押してください。

このとき、「プリントヘッドをクリーニングします。」とメッセージが表示されます。もう一度、ボタンを押すとヘッドクリーニングを開始します。

気をつけて
プリンタがヘッドクリーニングをサポートしていない場合は、この時点で「お使いのプリンタでは､この機能をカメラから実行できません。｣とメッセージが表示されます。その場合は、プリンタの取扱説明書をご覧の上、ヘッドクリーニングを実行してください。

携帯電話接続

この機能は au の携帯電話のみでご利用いただけます。

注意

携帯電話を使用する際には、お使いの携帯電話の取扱説明書に従って正しくご使用ください。
携帯電話の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。

携帯電話転送機能

カメラで撮影した画像は、専用ケーブルを使って携帯電話に転送することができます。携帯電話に転送された画像は、E メールに添付したり、待ち受け画面にすることができ、EPSON Photo Album へも登録できます。

対応する電話機

この機能は、以下の au の携帯電話機で使用できます。E メールへの添付、待ち受け画面への設定方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

EPSON Photo Uploader **対応機種**	
機種名	**メーカー名**
A5303H	（株）日立製作所
A5302CA	カシオ計算機（株）
A5301T	（株）東芝
A3014S	ソニーエリクソン（株）
A3013T	（株）東芝
A3012CA	カシオ計算機（株）

※上記機種は全て、「カメラモード自動切換機能」付きです。
※対応機種の情報は、2002 年 12 月のものです。
・対応機種の最新情報はエプソンホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/) をご覧ください。

MEMO **カメラモード自動切替機能**
カメラモード自動切替機能とは、カメラと携帯電話を接続し、携帯電話の初期画面状態においてカメラの接続開始キーを選択すると、携帯電話が自動的に「カメラモード」になる機能です。機種によっては、約 10 秒程度を要するものがあります。10 秒たっても、モードに移行しない場合は、手動にてモード設定をしてください。

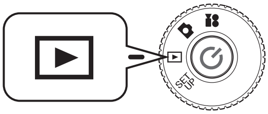
カメラと携帯電話の接続



付属の「携帯電話接続ケーブル」でカメラと携帯電話を接続してください。

ポイント **携帯電話と接続するときは、携帯電話の電源が入っていないことを確認し、接続後に電源を投入してください。**

画像を携帯電話に転送する　カメラの操作



モードダイヤルを「再生モード」にし、電源を入れてください。

1　携帯電話機の電源を ON した後、転送したい画像を◀▶ボタンで選択してください。その後、カメラの MENU ボタンを押すとメニューが表示されます。◀▶ボタンで「携帯電話接続」を選んでください。

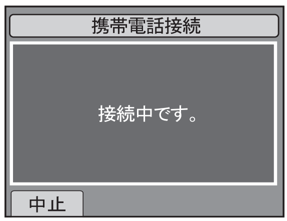


MEMO　携帯電話の機種によっては、最初の一回だけ、接続時にエラーを検出する場合がありますが、故障ではありません。二回目の接続からは、問題なく接続できるようになりますので、再度接続を試みてください。

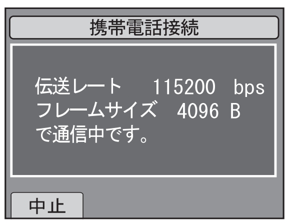
気をつけて　P.I.F. のフレーム合成機能は、印刷のための機能です。
選択された写真に P.I.F. のフレーム合成指定がされていても、フレームの合成は行われず、写真のみが携帯電話機に転送されます。

2　フラッシュボタンを押すと接続を開始します。

接続が始まると、右の「接続中です。」か、あるいは右下の通信状態を示す画面が表示されます。
マクロボタンを押すと接続を中止します。



MEMO　伝送レートとは、カメラと携帯電話の間の通信速度を示し、フレームサイズとは、一度に送信するデータのひとかたまりのバイトサイズを示しています。携帯電話の機種に依存しており、数値が大きいほど、早く転送が終了します。



3　これで携帯電話に転送する準備ができました。
これ以降は、携帯電話の操作になります。次ページに進んでください。

画像を携帯電話に転送する　携帯電話の操作 ①

これから説明する携帯電話機の各種の操作方法や表示類は、携帯電話機のメーカーや機種によって異なります。お使いの機種の取扱説明書をご参照ください。

気をつけて

1 携帯電話での受信画像サイズを指定する

携帯電話がカメラモードであることを確認し、「画像の設定」を選択してください。



MEMO　携帯電話の機種によって、カメラモードで選択できる、機能の名称表示が異なります。相当する機能を選択してください。

2 受信する画像サイズの設定を行う

選択可能な画像サイズが表示されますので、用途や通信費を考慮した画像サイズを選択してください。（89 ページ参照）設定が終わると確認画面が表示されます。



気をつけて　カメラから携帯電話に伝送する際、拡大して（大きくリサイズして）伝送することはできません。携帯電話側で受信サイズを大きく指定しても、元画像サイズのまま伝送されます。

用　途　案	サイズ
各種、待ち受け画面に使用する	160 × 120 ピクセル以下
メールに添付する	640 × 480 ピクセル以下
最終的に印刷する（用紙サイズに依存）	640 × 480 ピクセル以上

MEMO　携帯電話に表示される画像サイズリストは、電話機の機種や カメラで選択した画像に依存して変わります。
また、上記の表は、あくまで参考としてお考えください。

携帯電話に画像を転送する
（携帯電話での画像取込み）

携帯電話の操作 ②

1 カメラモードで「ファイル名表示」を選択する

携帯電話で受信する画像の適切なサイズを確認した後、携帯電話のカメラモードから「ファイル名表示」を選択してください。「接続中」ならびに「ファイルリスト取得中」等のメッセージが表示された後、画像のファイル名が表示されます。



2 転送したいファイルの確認

リスト上に画像ファイル名が表示されますので、表示 機能などを使って画像を確認ください。

MEMO
カメラ本体のマクロボタンを押すと、カメラ側で処理を中止することができます。



3 携帯電話に画像を転送する

メニュー（「機能」等と表示する機種もあり）キーを押すと、「保存」、「消去」、「接続終了」などの選択画面になります。
右参考図のような場合には、▲ ▼ キーなどで「保存」を選択して OK キー押してください。指定した画像が携帯電話機に転送され、データ用フォルダに取り込まれます。
※本カメラでは、携帯電話からの画像の消去はできません。



MEMO
携帯電話機に取り込んだ画像は、データフォルダと呼ばれるメモリーに保存されます。
メールに添付して送ったり、待ち受け画面に設定することができます。お手持ちの携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
また、EPSON Photo Album へアップロードして、友人･知人にお披露目する事ができます。詳しくは次ページ以降をお読みください。

ようこそ、EPSON Photo Uploader へ

EPSON Photo Uploader をご利用いただくためには、対応する au の携帯電話と、インターネットに接続されたパソコン環境が必要です。

EPSON Photo Uploader について

EPSON Photo Uploader は、携帯電話から EPSON Photo Album に接続して写真をアップロードし、アルバムを作成するアプリケーションです。
家族や友人に招待状を出して、作成したアルバムを楽しんでもらうこともできます。

このアプリケーションの機能

EPSON Photo Uploader は、携帯電話にインストールして使用します。





写真の選択とアップロード

電話機に登録されている写真を選んで、アルバムにアップロードできます。



アルバムの作成・選択

このアプリケーションで EPSON Photo Album にアルバムを作成、選択することができます。

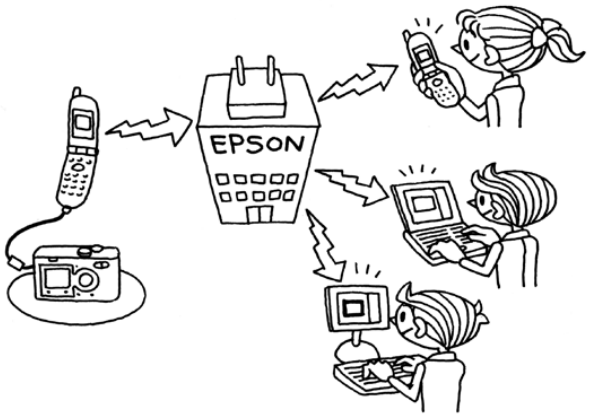


招待状の送信

アルバムを見て欲しい人に、アルバムのアドレスやパスワードが記載された招待状を送信できます。

EPSON Photo Album について

EPSON Photo Album は、インターネットサーバー上に作られた、デジタル写真のアルバムです。このアルバムは、パソコンや対応した携帯電話を使って写真を掲載（アップロード）したり、閲覧（ダウンロード）することができます。ご利用するためには、パソコン及びインターネットが使用できる環境が必要です。



EPSON Photo Album に写真を掲載しておけば、全国（全世界）から写真を見ることができます。
アルバムは、プライバシーの保護のために、パスワードで守られています。
登録は無料です。

EPSON Photo Album への登録

このアプリケーションを使用する前に、EPSON Photo Album にユーザー登録をする必要があります。登録は、パソコンなどからインターネットに接続して EPSON Photo Album のホームページ上で行ないます。

EPSON Photo Album のアドレスは以下の通りです。
http://www.epsonphoto.ne.jp/index.asp

アプリケーションのインストール

EPSON Photo Uploader をダウンロードして、携帯電話にインストールします。

1 ダウンロードサイトにアクセスする。

下記の手順に従って接続してください。

1) **http://www.epsonphoto.ne.jp/index.asp** にアクセスする。
2) EPSON Photo Album へログインする。
3) トップのメニューの「EPSON Photo Uploader のダウンロード」を選択する。

気をつけて

インターネットに接続する操作方法や画面表示は機種によって異なります。お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。

2 ダウンロードする。



ダウンロードサイトに接続すると、確認メッセージが表示され、[はい] キーを押すとダウンロードが始まります。ダウンロード終了後、自動的に電話機の ezplus アプリ起動一覧画面に登録されます。

MEMO

登録時、「通信機能設定」画面が表示されます。「ON（確認画面あり）」あるいは「ON（確認画面なし）」を選択してください。

3 アプリケーションを起動する



ezplus アプリ起動一覧画面から EPSON Photo Uploader を選択してください。EPSON Photo Uploaderは、「eppupl10」という名前で登録されています。起動時に「通信機能を利用しますか？」と表示されたら、「YES」を選択してください。

4 アプリケーションを終了する

EPSON Photo Uploader メイン画面で [終了] キーを押すとアプリケーションが終了します。

MEMO

機種によっては、どの画面からでも電源キーを押してアプリケーションを終了させることもできます。

注意

・EPSON Photo Album との接続（通信）には、パケット通信料金が発生します。
・一般的な ezplus の操作に関しては、お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。
・折りたたみ可能な機種では必ず電話機を開いた状態でご使用ください。電話機を閉じてのご使用は、動作確認対象外です。
・機種によっては、待受 ezplus として登録できる機種がありますが、本アプリを待受 ezplus としては使用しないでください。
・機種によっては、アプリを「終了」ではなく「中断」させることが可能ですが、「中断」は動作確認対象外です。使用しない場合は必ず「終了」してください。
・電波の強さが「強」であっても、電波の状態によっては、通信に失敗する場合があります。
・アップロードする写真は 200K バイト以内のものをご使用ください。これ以上のサイズのアップロードに関しましては、動作確認対象外です。
・写真の読み込み時やアップロード時にバックライトが消える場合があります。その場合は、通話キーを押して、バックライトを点灯させてください。ソフトキー、決定キー、電源キー、クリアキー、数字キーを押した場合は、そのキーに割り当てられた処理が実行されます。
・データフォルダアクセス中に音声着信等の割込みが発生した場合、通話終了後、音声着信前の状態に戻らない場合があります。
・アプリケーションの使用中に文字を入力する場合、入力の方法や電源キー・クリアキーの機能などは、電話機によって異なります。お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。また、本アプリケーションではすべての入力項目で絵文字は使用できません。お使いにならないようご注意ください。

デフォルト（初期）設定

EPSON Photo Album に接続するためのログイン ID を設定します。

ここで設定した内容は、アプリケーションを終了しても電話機内に記録されます。

1 「ログイン ID の設定」画面を呼び出す

起動画面から、設定 キーを押して、「デフォルト設定」を呼び出し、決定 キーを押します。機種によっては、7 キーで直接選択できます。



気をつけて

「決定」キーは、上下左右キーの中央にあるキーです。機種によって呼び方が異なることがありますが、この取扱説明書では「決定キー」と表します。

2 ログイン ID を入力する

決定 キーを押して、EPSON Photo Album のログイン ID を文字入力してください。OK キーを押すと、ログイン ID が設定され、「デフォルト設定」に戻ります。設定の取り消しは、キャンセル キーを押します。

ログイン ID を設定すると、取得したアルバム情報やそれまでに操作した写真の選択、タイトルや説明の入力、招待状の宛て先選択などがクリアされます。



アルバムを作る

ここでいう「アルバム」とは、インターネットサーバー上に作られた EPSON Photo Album のことです。このアルバムに携帯電話を使って写真を掲載（アップロード）する方法を説明します。

アルバムを選択・作成・更新する

アルバムに写真をアップロードするには、対象となるアルバムを選択する必要があります。対象となるアルバムがない場合は新規作成します。

1 アルバムを選択する

1 「アルバム選択」画面を呼び出す。

すでにアルバムが作られている場合、右図のメイン画面から「アルバム選択」を選んで 決定 キーを押してください。「アルバム名一覧」が表示されます。機種によっては、7 キーで直接選択できます。



2 目的のアルバムを選択する。

▲ ▼ キーを使って目的のアルバムを選び OK キーを押してください。メイン画面に戻り、選択したアルバム名がセットされます。機種によっては、一覧の行番号に対応する数字キーで直接選択できます。選択の取り消しは、キャンセル キーを押します。



> 気をつけて
> 初めてアプリケーションを起動したときは、アルバムの一覧は表示されません。新規にアルバムを作成するか、最新の情報に更新してください。

2 新しいアルバムを作成する

1 「新規入力」画面を呼び出す。

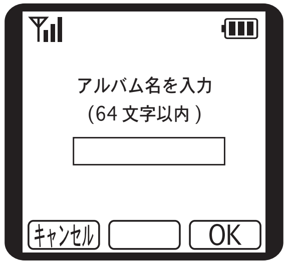
「アルバム名一覧」画面を呼び出してください。▲ ▼ キーを使って「新規入力」を選び 決定 キーを押します。機種によっては、一覧の行番号に対応する数字キーで直接選択できます。（行番号はアルバムの数によって変わります）



2 新しいアルバム名を入力する。

[決定] キーを押してアルバム名を入力します。
[OK] ボタンを押すと、アルバム名一覧画面に戻って新しいアルバム名が選択状態になります（先頭に * が表示されます）。入力の取り消しは、[ｷｬﾝｾﾙ] キーを押します。

> 気をつけて
> 新規に入力したアルバム名は、まだ EPSON Photo Album 上には作られていません。写真をアップロードしたときに作られます。



3 最新の情報に更新する

電話機以外から EPSON Photo Album に接続してアルバムを操作すると、電話機に記録されているアルバム名一覧と実際のアルバムが一致しなくなります。その場合は、EPSON Photo Album に接続して最新の情報に更新し、電話機に記録させせます。

1 「最新の情報に更新」画面を呼び出す。

「アルバム名一覧」画面で [▲] [▼] キーを使って「最新の情報に更新」を選び [決定] キーを押します。機種によっては、[1] キーで直接選択できます。



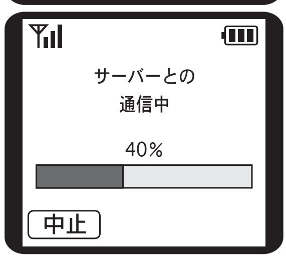
2 EPSON Photo Album に接続する。

確認画面が表示されます。更新を実行する場合は、
[OK] キーを押してください。通信を開始し、EPSON Photo Album へ接続して情報を取得します。更新の取り消しは、[戻る] キーを押します。
通信中はプログレスバーが表示されます。通信を中断したいときは、[中止] キーを押します。



> 気をつけて
> 通信には、パケット通信料金が発生します。

> MEMO
> 初めて EPSON Photo Album に接続するときにはパスワード入力が必要です。一度入力すると、アプリケーションを終了するまで再度入力する必要はありません。



写真をアップロードする

電話機に登録した写真を EPSON Photo Album にアップロードすることができます。写真には，タイトルと説明文を付けることができます。

1 写真を選択する

1 「写真のアップロード」画面を呼び出す。

※先ず､アルバムの選択を行ってください。(90 ページ参照)
アルバムを選択後､メイン画面で [▲] [▼] キーを使って「写真のアップロード」を選び [決定] キーを押してください。機種によっては、[2] キーで直接選択できます。



2 「写真」を選択する。

｢写真のアップロード｣画面になります。[▲] [▼] キーを使って「写真」を選び、[決定] キーを押してくだい。機種によっては、[1] キーで直接選択できます。
記録されている写真の登録名一覧が表示されますので、[▲] [▼] キーを使ってアップロードしたい写真を選び、[OK] キーを押してください。機種によっては、一覧の行番号に対応する数字キーで直接選択できます。選択の取り消しは、[ｷｬﾝｾﾙ] キーで。写真の確認は選択した状態で [決定] キーを押します。



3 写真の内容を確認する。

選択した写真の縮小画像が表示されます。縮小画像は、[▲] [▼] キーを使って、前の写真や次の写真に切り替えることができます。[OK] キーを押すと「写真の一覧」に戻り、その写真が選択状態になります。選択の取り消しは [ｷｬﾝｾﾙ] キーを押します。



> **MEMO**
> 縮小画像が登録されていない写真は、登録名とメッセージ「サムネイル情報が含まれていません。」と表示されます。

4 全体画像を表示する。

縮小画像あるいは登録名表示のときに、写真の全体を見たいときは、[決定] キーを押します。写真が画面より大きい場合は、[▲] [◀] [▼] [▶] キーで動かして見ることができます。[戻る] キーで縮小画像表示、または登録名表示に戻ります。



2　タイトルと説明を入力する

1「タイトル」を選択し、入力する。

「写真のアップロード」画面で [▲] [▼] キーを使って「タイトル」を選び [決定] キーを押してください。機種によっては、[2] キーで直接選択できます。[決定] キーを押すと、文字入力画面に替わります。



2「説明」を選択し、入力する。

「写真のアップロード」画面で、[▲] [▼] キーを使って「説明」を選び [決定] キーを押してください。機種によっては、[3] キーで直接選択できます。[決定] キーを押すと、文字入力画面に替わります。

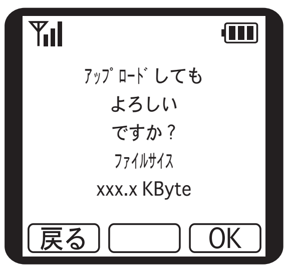


3　アップロードする

1 アップロードを選択する。

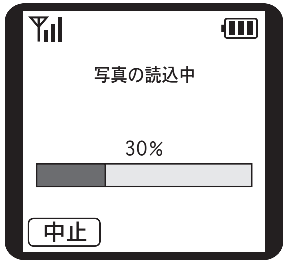
「写真のアップロード」画面で [ｱｯﾌﾟ] キーを押すと、確認画面に変わります。
[OK] キーを押すとアップロードを実行します。[戻る] キーを押すと「写真のアップロード」に戻ります。





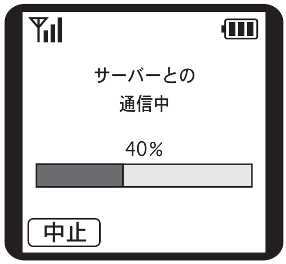
2 通信を開始する。

はじめに写真のデータをメモリ上へ読み込み、その後、引き続き EPSON Photo Album への通信が始まります。
読み込み中、通信中は、それぞれプログレスバーが表示されます。通信を中断したいときは、［中止］キーを押します。



MEMO

アプリケーションを起動して初めて EPSON Photo Album に接続する場合は、パスワードの入力が必要です。二度目からもパスワード入力画面が表示されますが、すでにパスワードが入力されているので、「*****」と表示され、入力の必要はありません。



気をつけて

- 通信には、パケット通信料金が発生します。（確認画面で表示されるファイルサイズに相当するパケット料金以外にも、付随する情報の送受信に必要なパケット料金が付加されて発生します。）
- お使いの機種によっては、読み込みや通信にかなりの時間がかかる場合があります。

3 「招待状」送信の選択

アップロードが終了すると、このまま招待状の送信を行なう選択画面になります。
招待状は後からでも送ることができます。詳細は次の章をご覧ください。



MEMO

アップロード終了後、更に続けて別の写真をアップさせたい場合は［ｷｬﾝｾﾙ］キーを押してください。メイン画面に戻りますので、操作を「 1 写真を選択する」から繰り返すことができます。

招待状の送信

アルバムを見て欲しい人に招待状を出すことができます。招待状とは、案内文とゲストパスワードの入った「E- メール」のことです。招待状は一度に 10 通まで送ることができ、受け取った人は簡単な操作で写真を見ることができます。

招待状を送る

1 宛先を設定する

1 「招待状の送信」画面を呼び出す。

※先ず､アルバムの選択を行ってください。(90 ページ参照)
アルバムを選択後、メイン画面から「招待状の送信」を選択して [決定] キーを押してください。機種によっては､[3] キーで直接選択できます。



2 「宛先」を選択する。

「招待状の送信」画面が表示されます。[▲] [▼] キーで「宛先」を選び [決定] キーを押してください。機種によっては、[1] キーで直接選択できます。



3 「宛先一覧」から宛先を指定する。

「宛先一覧」には、10 個の宛先を表示することができます。[▲] [▼] キーで設定したい番号を選び [決定] キーを押してください。機種によっては、一覧の行番号に対応する数字キーで直接選択できます。すでに宛先が設定されている番号を選んだ場合は、新しい宛先に書き替わります。
この画面で [OK] キーを押すと宛先を確定して、「招待状の送信」画面に戻ります。
新規にアルバムを作成し、送信する場合、宛先一覧は空白です。空白部分を選択すると､アドレスの設定画面になります。



> 気をつけて
> 「招待状の送信」の宛先欄には、先頭の宛先しか表示されませんが、ここで設定した個数分の宛先が有効になっています。

選択の取り消しは､[ｷｬﾝｾﾙ] キーを押します。

4 「アドレスの設定」を行う。

「宛先一覧」画面から、宛名欄を選択・決定すると「アドレスの設定」画面になります。アドレスの設定は、「メールアドレスを直接入力する」方法と、「電話機のアドレス帳から選択する」方法があります。
この画面で [OK] キーを押すと宛先を確定して、「宛先一覧」画面に戻ります。複数の人を招待したいときは、人数分この操作を繰り返してください。設定の取り消しは、[キャンセル] キーを押します。



5a メールアドレスを直接入力する。

「アドレスの設定」画面で、入力欄を [▲] [▼] キーで選び、[決定] キーを押してください。機種によっては、[1] キーで直接選択できます。
[決定] キーを押して文字入力してください。[OK] キーを押すと入力が確定して、「アドレスの設定」画面に戻ります。入力の取り消しは、[キャンセル] キーを押します。



5b 「アドレス帳」から選択する。

「アドレスの設定」画面から、[▲] [▼] キーで「アドレス帳」を選び、 [決定] キーを押すと、お使いの電話機のアドレス帳の画面に切り替わります。機種によっては、[2] キーで直接選択できます。
電話機のアドレス帳で宛先を選択してください。選択後、「アドレスの設定」画面に戻ります。



2 ゲストパスワードを設定する

1 「パスワード」を選択する。

アルバムを見るためのゲストパスワードを設定します。「招待状の送信」画面で [▲] [▼] キーを使って「パスワード」を選び、[決定] キーを押してください。機種によっては、[2] キーで直接選択できます。



2 ゲストパスワードを入力する。

[決定] キーを押すと文字入力画面になります。あらかじめ決めておいたゲストパスワードを入力してください。
(一度使ったパスワードは使用できません。別のパスワードにしてください)
[OK] キーを押すと、パスワードを確定して「招待状の送信」画面に戻ります。入力の取り消しは、[キャンセル] キーを押します。

3　本文を入力する

1　本文を選択する。



招待状の本文を入力します。
「招待状の送信」画面で [▲] [▼] キーを使って「本文」を選び [決定] キーを押します。機種によっては、 [3] キーで直接選択できます。

2　本文を入力する。



[決定] キーを押すと文字入力画面になります。300 文字以内で本文を入力しましょう。
[OK] キーを押すと、本文が確定して「招待状の送信」画面に戻ります。入力の取り消しは、[ｷｬﾝｾﾙ] キーを押します。

本文を入力するときは、以下の定型文が表示されます。
「$$URL$$」には、アップロードした写真を見るためのアドレス（URL）が自動的に入ります。このアドレスの中にゲストパスワードが含まれています。この文章は、電話機の入力機能を使って自由に書き換えられますが、アドレス（URL）は削除しても送信時にアプリケーションが自動的に追加します。
この文章に変更の必要がないときは、本文入力の操作を省略できます。

```
--------------------------------------------------
EPSON Photo Album に私の写真を掲載しました。
 URL: $$URL$$
 --
 EPSON Photo Album
 -------------------------------------------------
```



受信文字数に制限のある受信相手によっては、全文受け取れない場合があります。

4 送信する

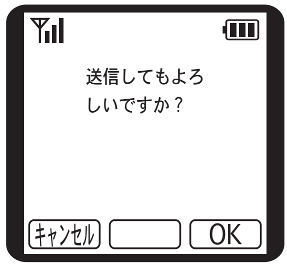
1 「招待状の送信」画面を呼び出す。

宛先やパスワード、本文の準備ができたら、送信を実行します。「招待状の送信」画面で 送信 キーを押します。



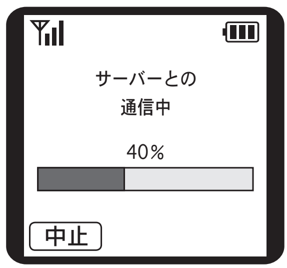
2 送信する。

送信を実行するには、 OK キーを押してください。送信の取り消しは、ｷｬﾝｾﾙ キーを押します。送信の実行を選択すると、EPSON Photo Album との通信が始まり、ゲストパスワードを設定します。通信中はプログレスバーが表示されます。通信を中断したいときは、 中止 キーを押します。



> **MEMO**
> アプリケーションを起動して初めて EPSON Photo Album に接続する場合は、パスワードの入力が必要です。二度目からもパスワード入力画面が表示されますが、すでにパスワードが入力されているので、「*****」と表示され、入力の必要はありません。

通信終了後、電話機固有のメール作成アプリケーションが起動します。そこでメールを送信してください。送信方法は各電話機の取扱説明書をご参照ください。メール送信後、メイン画面に戻ります。



> **気をつけて**
> 通信には、パケット通信料金が発生します。

携帯電話接続時のエラーメッセージ

カメラからのエラーメッセージ

メッセージ	原因と対応方法
携帯電話に専用ケーブルを接続し、電源を入れてください。携帯電話をカメラモードにしてください。	原因：携帯電話と未接続。もしくは、携帯電話の電源が入っていません。 対処：82 ページの手順に従って携帯電話とカメラを正しく接続し携帯電話の準備をしてください。
電池残量が少なくなっています。 このまま続けますか？	原因：電池残量が少なくなりました。 対処：電池残量が少ないと転送途中で停止してしまいます。AC アダプタを使用するようにしてください。
通信が切断されました。	原因：携帯電話機の電源を切ったり、ケーブルを抜いた場合、携帯電話のメモリー容量を超えた場合に表示されます。 対処：ケーブルがきちんと接続されていること、携帯電話機のバッテリーやメモリーの空き具合、モード状態などを確認してください。
エラー。通信を終了しました。	原因：上記以外のエラーを検出しました。 対処：対応機種であることをご確認ください。

携帯電話からのエラーメッセージ

メッセージ	原因と対応方法
写真がありません。	電話機に写真が 1 枚も登録されていません。写真を登録してからお使いください。
「xxxxxx」 （サムネイル情報が含まれていません。） ※「xxxxxx」にはファイルの登録名が表示されます。	画像ファイルの中に、サムネイル画像が含まれていないので縮小画像が表示できません。画像を見たいときは全体画像表示を行ないます。
「xxxxxx」（読込めません。） ※「xxxxxx」にはファイルの登録名が表示されます。	画像ファイルの内容が不正です。写真を再登録するか、他の写真をお使いください。

携帯電話からのエラーメッセージ（続き）

メッセージ	原因と対応方法
半角英数文字で入力してください。	半角英数字で入力する項目に全角文字が入っています。正しく入力し直してください。
ログインに失敗しました。再度入力してください。	ログイン ID あるいはパスワードが違っていたため接続できませんでした。ログイン ID およびパスワードを確認してください。
電波圏外のため送信できません。	電波圏外のため接続できません。圏内に移動してやり直してください。
割り当てられたスペースがいっぱいになりました。	EPSON Photo Album のスペースがいっぱいになってこれ以上アップロードできません。パソコンなどで EPSON Photo Album に接続して、不要な写真を消去してください。
宛先が正しくありません。	宛先のメールアドレスを確認してください。
サーバとの通信に失敗しました。通信を継続しますか？	回線障害など、通信に異常があって処理を完了できませんでした。通信を継続する場合は「OK」を選択してください。このメッセージが繰り返し表示される場合は、アプリケーションをいったん終了し、しばらくたってから再度送信してください。
ゲスト用パスワードを、ログイン用パスワードとは異なるものにしてください。	ログイン用パスワードと同一のゲスト用パスワードは設定できません。別のパスワードを指定してください。
このゲスト用パスワードはすでに使用されています。異なるものにしてください。	すでに設定済みのゲスト用パスワードを指定しました。別のパスワードを指定してください。
アルバムの数が上限値に達しました。	アルバムは、70 個までしか表示することができません。そのため表示されないものが存在します。パソコンなどで EPSON Photo Album に接続して、不要なアルバムを削除してください。
このアルバムは削除されています。	他のアルバムを選択するか、「アルバム名一覧」画面で「最新の情報に更新」を実行してください。
送信に失敗しました (xxxxx)。 ※ (xxxxx) にはエラーの番号が表示されます。	予期せぬエラーが発生し、送信に失敗しました。電源をいったん切ってから再起動してください。それでもエラーが発生する場合は、本アプリケーションを削除し、再度ダウンロードし直してください。

その他の機能設定

印刷予約（DPOF）について

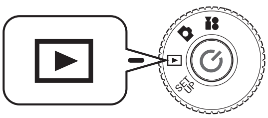
DPOF とは、Digital Print Order Format の略で、デジタルカメラで撮影した画像をプリントするための情報（プリントしたい画像とその枚数の指定など）を、メモリーカードに記録するフォーマットのことです。



このカメラでは、プリントボタンを使い、DPOF に対応したプリントアウト指定ファイルを作成することができ､その情報をカメラのメモリーカードに保存して、指定した画像を簡単に印刷することができます。
液晶モニタを見ながら印刷したい画像を選択したり、パソコンがなくても、撮影直後にプリントアウト指定ファイルを作成することができます。

気をつけて
P.I.F. の情報は、DPOF 情報に含まれません。P.I.F. 印刷は正しく行われませんのでご注意ください。

印刷予約（DPOF）の設定



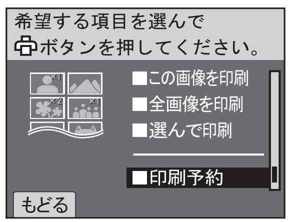
モードダイヤルを「再生モード」にして、電源を入れてください。

1 プリントボタンを押すと、ダイレクトプリントモードに入ります。

マクロボタンを押すと再生モードに戻ります。

2 ▲▼ボタンで「印刷予約」を選び、プリントボタンを押します。

マクロボタンを押すと①に戻ります。



MEMO
分割画面上にデータの種類がアイコンで表示されます。
画面に表示することはできますが、プリントはできないデータです。



3 ◀▶ボタンで画像を選び、▲▼ボタンで枚数を指定します。フラッシュボタンで設定を保存します。

印刷予約（DPOF）は、画像 1 種類につき 99 枚まで選択可能で、999 種類まで設定可能です。ただし、印刷枚数は最大 9999 枚です。

マクロボタンを押すと設定を中止します。

ヒント

印刷予約（DPOF）を作成すると、以下のことができます。

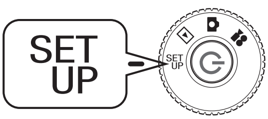
- カメラとパソコンを接続して、「EPSON カメラスタータ」を起動すると、指定した画像だけを「EPSON PhotoQuicker」で印刷することができます。
- メモリーカードをカメラから取り出して、DPOF ファイルを読み込めるプリンタにセットすると、指定した画像を印刷することができます。
- メモリーカードをカメラから取り出して、一般のデジタルプリントサービスを利用することができます。

気をつけて

P.I.F. の情報は、DPOF 情報に含まれません。「ダイレクトプリント（68 ページ参照）」以外の方法では、P.I.F. 印刷は正しく行われませんのでご注意ください。

シャッター音と操作音の設定

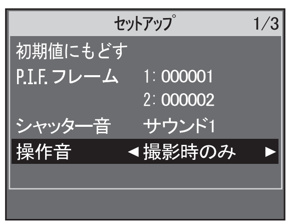
シャッター音や、カメラ背面のボタンを押したときに鳴る、操作音の設定することができます。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

1 ▲▼ボタンで「シャッター音」、または「操作音」を選び、◀▶ボタンで設定を変更します。



シャッター音の設定

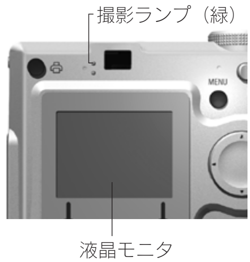
設　定	効　果
電子音（出荷時設定）	電子音
サウンド 1	擬似的なシャッター音
サウンド 2	擬似的なシャッター音

操作音の設定

設　定	効　果
あり（出荷時設定）	「操作音」と「シャッター音」が鳴ります
なし	「操作音」も「シャッター音」も鳴りません
撮影時のみ	撮影時の「シャッター音」のみ鳴ります

節電機能について

このカメラは、何も操作されない状態が一定時間経過すると節電機能が働き、自動的に電源が切れ、電池の無駄な消費を防ぎます。



1 無操作状態が3分を過ぎるとスリープ（休止）状態になります。

スリープ中は、緑の撮影ランプが点滅し、液晶モニタが消灯、CPUもスリープします。

> **MEMO** スリープ状態から復帰するには、シャッターボタン、背面のいずれかのボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。

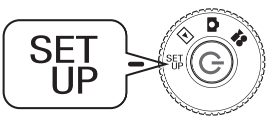
2 そのままさらに無操作状態が10分以上続くと、電源が切れます。

「撮影モード」と「動画モード」の場合は、レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。

※ダイレクトプリント中や携帯電話通信中は電源が切れません。

節電機能の設定

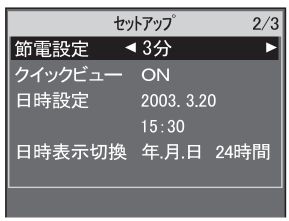
節電機能が働くまでの時間を設定することができます。初期設定は「3分」ですが、「1分」と「5分」、「20分」を選ぶことができます。



モードダイヤルを「SET UPモード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

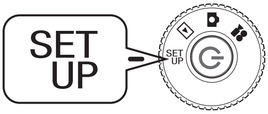
1 ▲▼ボタンで「節電設定」を選び、◀▶ボタンで時間設定を変更します。



> **MEMO**
> **ACアダプタ接続時は**
> ACアダプタ接続時は、節電設定にかかわらず、最後の操作から20分後に電源が切れます。

日時と表示形式の設定

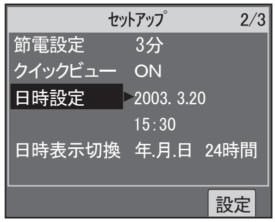
日時と日時の表示形式を変更することができます。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

1 **▲▼ボタンで「日時設定」を選び、◀▶ボタンで年月日と時間分を指定します。**



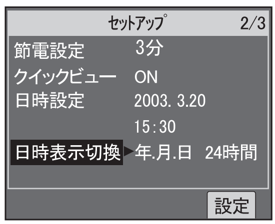
MEMO
2033 年 12 月 31 日までの日時設定が可能です。

2 **各項目ごとに▲▼ボタンで設定を選び、フラッシュボタンで決定します。**

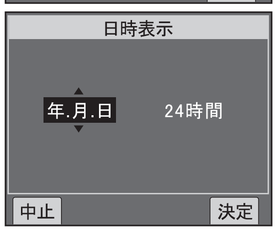


マクロボタンで設定を中止できます。

3 **▲▼ボタンで「日時表示切換」を選び、◀▶ボタンで年月日と時間分を指定します。**

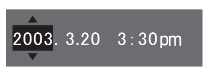


4 **▲▼ボタンで「年月日」の表示設定を選び、次に◀▶ボタンで「時間」の表示設定を指定し▲▼ボタンで選びます。**



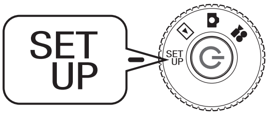
5 **フラッシュボタンで決定します。**

マクロボタンで設定を中止できます。



液晶モニタの明るさ調整

液晶モニタの明るさを調整します



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

▲▼ボタンで「液晶明るさ」を選び、◀▶ボタンで調整します。





液晶モニタを明るく



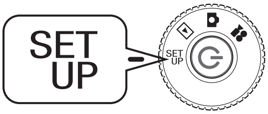
液晶モニタを暗く

メモリーカードのフォーマット（初期化）

メモリーカードを初期化します。

気をつけて

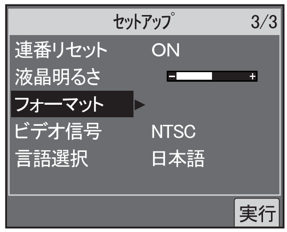
- メモリーカードに保存されているすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- フォーマットを行うと、出荷時に添付されていた PRINT Image Framer 用のフレームも消去されますのでご注意ください。
- 必要な画像はパソコンに転送して保存するなど、必ずバックアップを取ってください。
- カードのフォーマットはパソコンでは行わず、必ずカメラで行ってください。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

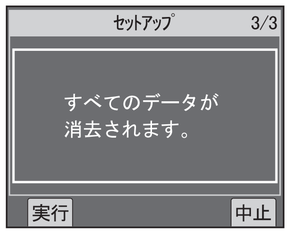
「セットアップ」画面が表示されます。

1 ▲▼ボタンで「フォーマット」を選び、▶ボタンか⚡フラッシュボタンのいずれかを押します。



2 「全てのデータが消去されます。」とメッセージが表示されます。マクロボタンを押すとメモリーカードのフォーマットが実行されます。

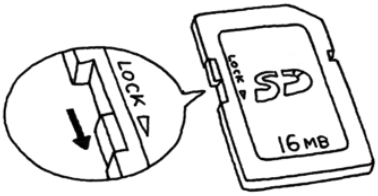
フォーマットを実行しない場合は、⚡フラッシュボタンを押してください。

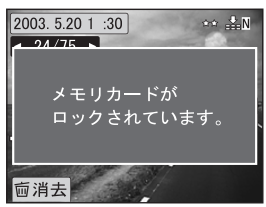


MEMO

SD メモリーカードのライトプロテクトについて

SD メモリーカードは、大切な写真を間違って消去しないように、プロテクト（保護）することができます。SD メモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると、ロック（書込み禁止）状態になります。ロックされているメモリーカードを挿入して撮影（書込み）しようとしたり、消去しようとすると右下の画面が表示されます。





ファイルの命名規則（連番機能）

ファイル名のきまりについて説明します。

ファイル名は必ず「EPSNXXXX.xxx」という形になります。

連番機能リセットが ON の場合ファイル名は、フォルダごとに必ず「EPSN0001.xxx」からはじまります。

連番機能リセットが OFF の場合ファイル名は、カメラが記録している累積枚数からはじまります。たとえば、前回の撮影の最後のファイル名が「EPSN0500.jpg」だった場合、次回の撮影がフォーマットしたばかりのメモリーカードを使っても、「EPSN0501.jpg」というファイル名からはじまります。

気をつけて

メモリーカード内のフォルダ名、ファイル名の注意

- メモリーカード内のフォルダ名を変更すると、画像が再生できなくなるなど、カメラが正しく動作しないおそれがありますのでご注意ください。
- フォルダ番号が 999、ファイル番号が 9999 になると、それ以上画像を撮影できません。その場合は、メモリーカードを交換してください。
- コンピュータなどに保存する場合、保存先に同じフォルダ名またはファイル名があると、上書きするおそれがありますのでご注意ください。

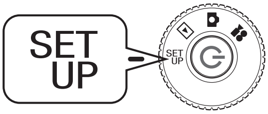
連番のリセット

画像ファイルの連番をリセットすることができます。

解説

連番について

撮影した画像ファイルには、上書き保存されないように、ファイル名の重複を避け、一定の決まりの元に連続した番号が振り当てられます。これを「連番」といいます。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

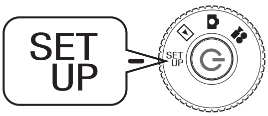
「セットアップ」画面が表示されます。

▲▼ボタンで「連番リセット」を選び、◀▶ボタンで ON/OFF を変更します。



ビデオ出力信号の設定

テレビに接続する時のビデオ信号方式を設定することができます。通常は変更する必要がありません。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

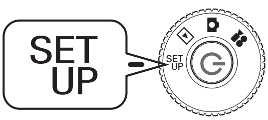
▲▼ボタンで「ビデオ信号」を選び、◀▶ボタンで変更します。



MEMO **ビデオ信号方式について**
ビデオ信号方式には NTSC と PAL 方式があり、国によって異なります。日本は NTSC 方式ですので、通常は「NTSC」のままでお使いください。

メニュー言語の設定

画面に表示される言語を設定することができます。通常は変更する必要がありません。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

「セットアップ」画面が表示されます。

1 **▲▼ボタンで「言語選択」を選び、▶ボタンで変更します。**

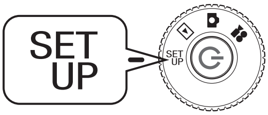


2 **▲▼◀▶ボタンで言語を選ぶとその言語がすぐに液晶モニタに反映されるので、⚡フラッシュボタンを押して決定します。**



カメラ本体の初期化

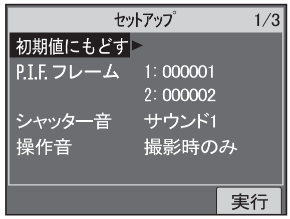
カメラ本体で行った様々な設定を、一度に初期状態に戻すことができます。



モードダイヤルを「SET UP モード」にして、電源を入れてください。

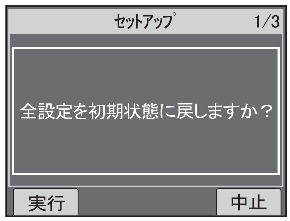
「セットアップ」画面が表示されます。

1 **▲▼ボタンで「初期値に戻す」を選び、⚡フラッシュボタンを押します。**



2 **マクロボタンを押すとカメラの設定が初期値に戻ります。**

初期化を実行しない場合は、⚡フラッシュボタンを押してください。



付録

カメラのお手入れについて

良好な状態でお使い頂くために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

注　意
カメラをお手入れの際は、必ず AC アダプタを取り外してください。
感電のおそれがあります。

カメラが汚れた時は

本体の清掃

外装ケースの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかな布を浸し、布をよく絞ってから汚れをふき取った後、乾いた柔らかい布でふいてください。
レンズが汚れたら、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

電池などの清掃

電池の＋－端子部と、カメラの電池カバー内側の＋－接点部に付着した汚れは 、乾いた柔らかい布で 、きれいにふき取り 、常にきれいな状態でお使いください 。
電池接片が汚れていると、電池寿命が短くなる場合があります。

注　意
シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は 、絶対に使用しないでください 。
変形 、変質するおそれがあります。
カメラの電池セット内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります

カメラを保管する時は

注　意
カメラは精密な電子部品で作られていますので、保管場所には十分ご注意ください。また、巻頭の「安全にお使いいただくために」、126・127 ページの「サービス・サポートのご案内」をよくお読みください。

・カメラケース（別売り）に入れて保管してください。
・カメラを長期間使用しない場合は､電池を外し､カメラケース（別売り）に入れて、涼しいところに保管してください。

基本仕様一覧

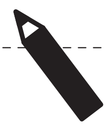
一般

外形寸法(本体)	105mm(幅)× 60mm(高さ)× 31.5mm(奥行)※突起部含まず。
重量	185g　※電池、メモリーカード、ストラップ含まず。
電源	・単 3 形アルカリ乾電池(LR6)4 本 ・単 3 形ニッケル水素電池 (Ni-MH) 4 本 ・単 3 形ニッケルマンガン電池 (ZR6) 4 本 ※単 3 形マンガン乾電池、単 3 形リチウム電池、単3形ニカド電池は使用不可。
外部電源	専用 AC アダプタ　A211H(同梱品) 入力:AC 100V ~ 240V, 50 ~ 60Hz　出力:DC 6.0V 2.0A 消費電力:0.3A, 16W　使用温度 5 ~ 35℃ 外形寸法:43 × 104 × 31mm
記録媒体	・SD メモリーカード(最大容量 512MB まで) ・マルチメディアカード(最大容量 512MB まで) ※マルチメディアカードは日立製および SanDisk 製のもので、MMC 規格 V2.1 以降のもの。
撮影可能枚数	< SD メモリーカード 16MB 使用時> 標準 640 × 480 ピクセル:約 127 枚 精細 1600 × 1200 ピクセル:約 35 枚 高精細 2048 × 1536 ピクセル:約 21 枚 ※新品、あるいはフォーマットされた(P.I.F. 関係のデータが入っていない)メモリーカードを使用し、ノーマル圧縮した場合。

光学系

CCD	1/2.5 型　原色フィルタ
有効画素数	324 万画素
レンズ	f=5.6 ~ 16.8mm (34 ~ 102mm 相当:35mm フィルムカメラ換算) F2.8(WIDE)~ 4.9(TELE)　6 群 7 枚(非球面 2 枚)
絞り	電磁駆動アイリス二段切り替え F2.8/F4.8(WIDE)　F4.9/F8.4(TELE)
ファインダ	光学実像式 3 倍ズームファインダ 視野率約 77%
フォーカス	オートフォーカス
撮影範囲	0.5m ~∞(通常時) 0.11 ~ 0.5m(マクロ時、ズームレンズ広角「W」側固定)
シャッター	電磁駆動方式シャッター
シャッター速度	静止画:ノーマルモード　1/2 秒~ 1/2000 秒 風景モード　1/2 秒~ 1/2000 秒 ポートレートモード　1/2 秒~ 1/2000 秒 動画　:1/32 秒~ 1/6200 秒

MEMO





困った時は

故障かな？と思ったら

現在の症状が以下のどれに当てはまるかを選び、それぞれの参照先をご覧ください。

故障かな？と思ったら

■カメラ本体のトラブル。117 ページ参照

■ 液晶モニタに注意のメッセージが表示される。122 ページ参照

注 意

次のような場合は故障と考えられますので、すぐに電池 (AC アダプタ・充電器使用時は電源プラグ) を抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

・カメラ本体、充電器、AC アダプタが極端に発熱する (非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる。

・変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る。
カメラ内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。感電のおそれがあります。

お問合わせいただく前に

質問や修理の依頼をなさる前に、「故障かな ? と思ったら」と「エラーメッセージ一覧」をご一読ください。その内容をすべて確認しても、現在の症状や不明点が解決できない場合は、内容に応じてそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

故障のとき

カメラ本体には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。
※エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

カメラ本体のトラブル

カメラの電源が入らない

チェック

電池が正しくセットされていますか？
＋－の向きに注意して正しくセットしてください。(19 ページ参照)

チェック

電池残量は十分にありますか？
電池残量が少なくなると、液晶モニタに アイコンが表示されます。新しい電池を準備してください。 が点滅したら電池を交換してください。(19 ページ参照)

チェック

モードダイヤルをしっかりと回していますか？
モードダイヤルを、使用するモードにしっかりと回し、電源ボタンをしっかりと押してください。(20 ページ参照)

撮影できない

チェック

電源が入っていますか？
上記「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。

チェック

メモリーカードをセットしましたか？
メモリーカードをセットしないと撮影できません。(18 ページ参照)

チェック

メモリーカードの残量は十分にありますか？
メモリーカードの残量がないと撮影できません。(31 ページ参照)

チェック

シャッターボタンを斜めに押していませんか？
シャッターボタンは上からまっすぐに押してください。

チェック

液晶モニタの残り撮影可能枚数の表示が 0 になっていませんか？
メモリーカードの容量がなくなり、撮影できません。必要な画像はパソコンに転送して保存するなど必ずバックアップを取ってから、必要のない画像を消去してください。(38 ページ参照)

チェック

撮影ランプが赤色に点灯していませんか？

いったん電源を切ってください。モードダイヤルを「撮影モード」にして、再度、電源を入れてみてください。電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、電池およびAC アダプタを外し、セットし直してから電源を入れてください。それでも赤色に点灯する場合は、カメラの故障と思われますので、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

しばらくすると電源がオフになってしまう

チェック

節電機能が働いていませんか？

節電状態からの復帰方法については 104 ページをご覧ください。

撮影に時間がかかる

チェック

シャッターボタンを一度に押し込んでいませんか？

シャッターボタンを軽く押して (半押し) ピントを合わせてから、シャッターボタンを押しこんで (全押し) 撮影してください。(23 ページ参照)

※シャッターボタンを一度に押し込んで撮影すると、ピント合わせや露出の決定などの処理を同時に行うため、シャッターボタンを押してから撮影されるまでのタイムラグ (時間の差) が長く感じられます。

フラッシュが発光しない

チェック

フラッシュが発光しない

フラッシュの設定は正しいですか？フラッシュが 「発光禁止」に設定されているときには発光しません。(32 ページ参照)

液晶モニタに画像が表示されない

チェック

モードダイヤルをしっかりと回していますか？

モードダイヤルをしっかりと回し、電源ボタンをしっかりと押してください。(24 ページ参照)

チェック

節電機能が働いていませんか？

節電状態からの復帰方法については 104 ページをご覧ください。

チェック

テレビに接続していませんか？

テレビに接続しているときには、液晶モニタは表示されません。

チェック

カメラとパソコンを接続していませんか？

カメラとパソコンを接続しているときには、液晶モニタは表示されません。

液晶モニタで撮影後、液晶モニタの表示が消える

チェック

節電機能が働いていませんか？

例えば節電設定が「1 分」の場合、操作後 1 分後に節電状態になります。設定を変更することもできます。(104 ページ参照)

節電状態からの復帰方法については 104 ページをご覧ください。

チェック

電池残量は十分にありますか？

電池残量が少なくなると、フラッシュ充電中に液晶モニタの表示が消えることがあります。

液晶モニタの表示が暗い

チェック

液晶モニタの明るさを調整しましたか？

液晶モニタの明るさを調整してください。（106 ページ参照）

液晶モニタの縦方向に線が入る

チェック

強い光にカメラを向けていませんか？

液晶モニタで撮影時、強い光が入ると液晶モニタの縦方向に線が見えることがあります。これは CCD の特性により表示されるもので、実際には撮影されません。

テレビに画像が表示されない

チェック

カメラの電源は入っていますか？

117 ページ「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。

チェック

カメラとテレビが正しく接続されていますか？

40 ページ「テレビで見る」を参照し、対処してください。

チェック

テレビの入力切替は正しいですか？

テレビの [テレビ / ビデオ切替] などで、カメラが接続されている端子からの入力画像を表示する画面にします。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

チェック

ビデオ信号方式の設定は正しいですか？

日本以外の国で購入されたテレビ、あるいは海外旅行にお持ちになり現地のテレビで再生する場合は、ビデオ信号の規格の違いにより、カメラの画像を表示できないことがあります (日本は NTSC 方式)。

お使いのテレビの信号方式に合わせて設定することができます。(109 ページ参照)

撮影した画像のトラブル

ぼけている、ピントが合っていない

チェック

ピント合わせを正しく行いましたか？

本カメラはオートフォーカス機構を搭載しています。シャッターボタンを軽く押すことで（半押し）、ピントが合います。(24 ページ参照)

チェック

被写体からの距離は正しいですか？

通常の撮影では被写体から 50cm 以上離れて撮影してください。マクロ撮影では、11cm ～ 50cm の距離でピントが合います。(52 ページ参照)

チェック

レンズが汚れていませんか？

レンズが汚れていたら、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。(112 ページ参照)

チェック

撮影時に手ぶれしませんでしたか？

手ぶれを防ぐためには、脇をしっかり締めてカメラを持ってください。手ぶれが心配な場合や、夜景などの暗い場所での撮影は、三脚をお使いください。

チェック

撮影時にレンズに手を触れませんでしたか？

撮影時にレンズに手を触れてしまうとレンズが汚れて画面がぼけてしまいます。レンズに触れないようにするためにも、カメラは正しく持つように心がけましょう。(22･23 ページ参照) また、レンズが汚れてしまったら、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。(112 ページ参照)

画像が暗すぎる

チェック

フラッシュを使って撮影してください。

フラッシュが届く範囲については、32 ページをご覧ください。

チェック

露出をプラスに補正してみてください。

露出をプラスに補正することで、明るめに撮影することができます。(60 ページ参照)

チェック

高感度で撮影してみてください。

フラッシュを使えない場所などでは、高感度に設定することをお勧めします。(59 ページ参照)

画像が明るすぎる

チェック

強い光源に向かって撮影していませんか？
カメラの向きを変えるなど、撮影方法を工夫してみてください。

チェック

被写体までの距離が近い場合、フラッシュを使わずに撮影してください。
フラッシュを「発光禁止」に設定してください。(32 ページ参照) 逆に暗くなりすぎてしまう場合は、高感度で撮影することをお勧めします。(59 ページ参照)

チェック

露出をマイナスに補正してみてください。
露出をマイナスに補正することで、暗めに撮影することができます。(60 ページ参照)

画像の一部が欠けている

チェック

レンズをふさいで撮影しませんでしたか？
手、ストラップ、服などで、レンズがふさがれた可能性があります。

チェック

ファインダを正しくのぞきましたか？
ファインダから目を離してのぞいたり、斜めからのぞくと、意図した構図で撮影できないことがあります。目を近づけて、まっすぐにのぞいてください。

チェック

被写体から近い距離で、ファインダをのぞいて撮影しませんでしたか？
被写体からおよそ 1m 以内の近距離でファインダをのぞいて撮影した場合、レンズとファインダの位置の違いにより、ファインダ枠内に収まっていても撮影されない部分があります（27 ページ参照)。液晶モニタで撮影することをお勧めします。(24 ページ参照)

色がイメージと異なる

チェック

ホワイトバランスの設定は正しいですか？
ホワイトバランスが「AUTO」で、蛍光灯の下で撮影すると、印象より緑がかった写真になることがあります。この場合、「蛍光灯モード」で撮影してみてください。
また、夕暮れ時などの薄赤い色の雰囲気を生かした撮影をしたいときや、白熱電灯など、照明の雰囲気を生かした撮影をしたいときには、ホワイトバランスを「デイライト」に設定することで、イメージに近い画像で撮影できます。(57 ページ参照)

印刷した画像のトラブル

79・80 ページ、及び、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

エラーメッセージ一覧

液晶モニタにメッセージが表示された場合は、内容に応じて次のように対処してください。

撮影モード時

メッセージ	原因と対応方法
メモリーカードがロックされています。	原因：メモリーカードのライトプロテクトが働いていて、書き込みができません。 対処：107 ページの手順に従ってメモリーカードのライトプロテクトを解除してください。
メモリーカードが異常です。	原因：メモリーカードに異常があります。 対処：18 ページの手順に従ってメモリーカードを取り外し、メモリーカードのメーカーのお問い合わせください。
メモリーカードがありません。	原因：メモリーカードが未装着です。 対処：18 ページの手順に従ってメモリーカードをカメラ本体にセットしてください。
メモリーカードがいっぱいです。	原因：メモリーカードが満杯状態です。 対処：38・39 ページの手順に従って不要なデータを消去するか、パソコン等にデータを転送してメモリーカードをフォーマットし、充分な空き容量を作ってください
フレームがありません。	原因：カメラ内にフレームが登録されていません。 対処：50・51 ページの手順に従ってフレームを再登録してください。
このフレームは使えません。	原因：カメラで扱えないフレームです。 対処：50・51 ページの手順に従って使用できるフレームを再登録してください。

ポイント

携帯電話関係のエラーメッセージは 99 ～ 100 ページにあります。

再生モード時

メッセージ	原因と対応方法
画像がありません。	原因：メモリーカードに画像がありません。 対処：このカメラで撮影済みのメモリーカードをセットするか、撮影が終了してから再生モードで画像をごらんください。
再生できません。	原因：再生できない画像ファイルを再生しようとしています。対処:34 ページの「再生する」をご覧ください。
この画像は消去できません。ロックされているか、消去できない画像です。	原因：本機以外の機器で、撮影あるいは、ロックされた画像を消去しようとしました。 対処：対象画像を撮影あるいは、ロックした機器で消去してください。
ロックされているか、消去できない画像がありました。	原因：全画像を消去しようとしましたが、本機以外の機器で、撮影あるいは、ロックされた画像がありました。 対処：対象画像を撮影あるいは、ロックした機器で消去してください。
関連ファイルがないか、壊れています。	原因：P.I.F. 確認時、再生するために必要なファイルが見つかりません。 対処：フレームのリンクが外れているか、フレームが変更あるいは消去されています。50・51 ページを参照してフレームの再登録をしてください。

SET UP モード時

メッセージ	原因と対応方法
メモリーカードの空き容量が足りません。	原因：転送に必要なメモリーカード空き容量が足りません。 対処：38・39 ページの手順に従って不要なデータを消去するか、メモリーカードをフォーマットしてください。
カメラ本体のメモリーの空き容量が足りません。	原因：転送に必要なカメラ本体内の空き容量が足りません。 対処：50 ページの手順に従ってデータを消去してください。
同じ名前のデータがあります。上書きしますか？	原因：カメラまたはメモリーカード内に同一ファイル名のフレームがあります。 対処：上書きするかどうか決定してください。上書きをすると以前の同名のフレームは消去されます。

プリントモード時

メッセージ	原因と対応方法
電池残量が少なくなっています。 AC アダプタを接続してください。	原因：電池残量が少なくなっています。 対処：電池残量が少ないと印刷途中で停止してしまいます。AC アダプタを使用するようにしてください。
プリンタの接続状態と、電源が入っていることを確認してください。	原因：ケーブル未接続、非対応プリンタと接続、その他の機器と接続、プリンタ電源が入っていないかのいずれかです。 対処：68 ページで対応プリンタを確認し、プリンタとケーブルを正しく接続した後、プリンタの電源を入れてください。
黒インクを交換してください。	原因：プリンタの黒インクがなくなりました。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタの黒インクを交換してください。
カラーインクを交換してください。	原因：プリンタのカラーインクがなくなりました。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタのカラーインクを交換してください。
インクカートリッジを確認してください。	原因：プリンタのインクカートリッジが不正装着、または不適切です。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタのインクカートリッジを正しく装着してください。
用紙をセットしてください。	原因：プリンタに用紙がセットされていません。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタの用紙をセットしてください。
用紙が詰まりました。	原因：紙詰まりがおこりました。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、詰まった紙を取り除いてください。
プリンタにエラーが発生しています。	原因：プリンタにエラーが発生しています。 対処：プリンタの電源をいったん切り、再度入れ直してください。それでもエラーが解除されない場合は、電源を切り、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、再度電源を入れてください。
プリンタから応答がありませんでした。	原因：プリンタがフリーズするなどプリンタから応答がありませんでした。 対処：プリンタとカメラを正しく接続してください。プリンタの電源を入れてください。お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタの不具合を取り除いてください。

メッセージ	原因と対応方法
印刷できない画像です。	原因：印刷できない画像ファイルを印刷しようとしました。 対処：他の画像をお選びください。
プリンタが印刷できません。再度実行しますか？	原因：プリンタがビジーで、その時は要求を受け付けられません。 対処：しばらく待ってから再度実行してください。
プリンタが印刷できません。	原因：プリンタから要求を拒絶されました。 対処：お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタの不具合を取り除き再度実行してください。念のためカメラの電源を入れなおすことをお奨めします。それでも印刷できない場合は、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。
通信が切断されました。	原因：ケーブルが抜かれるか、プリンタの電源が切れました。 対処：ケーブルを挿し直すか電源を入れて、再度印刷してください。
印刷できない画像が xx 枚ありました。	原因：本機以外の機器で、撮影あるいは、作成した画像を印刷しようとした可能性があり、印刷できない画像を印刷せず、それだけ除いて印刷が終了した。 対処：対象画像を撮影あるいは、画像を作成した機器や、パソコンから印刷してください。
P.I.F. 関連ファイルがないか、壊れているため、この画像は印刷できません。	原因：P.I.F. 付き画像印刷時に必要なファイルが見つかりませんでした。 対処：フレームのリンクが外れているか、フレームが変更あるいは消去されています。50・51 ページを参照してフレームの再登録をしてください。
お使いのプリンタでは、この機能をカメラから実行できません。	原因：クリーニングを実行しようとしたがこの機能に非対応のプリンタでした。 対処：プリンタのクリーニング機能をご利用ください。お使いのプリンタの取扱説明書に従って、クリーニングを行ってください。
対応プリンタではありません。	原因：接続されているプリンタがダイレクトプリント非対応です。 対処：必ずダイレクトプリントに対応しているプリンタをご利用ください。
プリンタ内部の部品調整が必要です。	原因：プリンタ内部の部品調整が必要なため、印刷を実行できません。 対処：いったん電源を切り、再度電源を入れてください。それでもエラーが解除されない場合は、プリンタをお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理相談窓口へご相談ください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

カラリオインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間：裏表紙の一覧表をご覧ください。
電話番号：裏表紙の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
エプソン販売ホームページ：http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地：裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。お問い合わせは裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。
記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
◎お買い求めいただいた販売店
受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9:00 ～ 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、いったんお預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドア	・指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

画像のバックアップについてのご注意

カメラの故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。
修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがありますが、撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

索引

アルファベット

数字

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004116（全国ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日を除く）
＊ナビダイヤルとは、NTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルはご利用いただけませんので、(042) 585-8555へお問い合わせください。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●スクール（エプソンデジタルカレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールはホームページにて、ご確認ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2002. 2. 28（A）

PRINT Image Matching
本製品は PRINT Image Matching に対応しています。PRINT Image Matching 及び PRINT Image Matching II 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

SDロゴは商標です。

Co-Existence 共生 EPSON
この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4044668_00	全て	新規制定	